

「意識の流れ」ホームページより

私の瞑想より
vol.1

—
目次

テーマ「瞑想」

- 6 思ってください。思いを向けてください。……………22
- 7 私は、愛の水素水を飲用し、早寝早起きの規則正しい一定のリズムの中で、日常を送っています。……………22
- 8 瞑想をして、絶えず感じることは、私は私の道をまっしぐらに進んでいく喜びです。……………24
- 9 田池留吉に素直に心を向けながら、自分の中の愛を呼んでいきましょう。……………25
- 12 「私は愛だから、今のこの肉を持っていくし、今のこの環境設定の中で、真実の波動を感じていけるようになっていくし、そう、すべてが愛だから、そういう意識の流れの中にある自分であることを感じられる。」……………27
- 13 正しい瞑想、正しい瞑想と言うけれど、正しい瞑想とは、田池留吉と素直に呼べるか、田池留吉に素直に思いを向けられるかということですよ。……………28
- 14 死んでも消えないものを知っていくこと、知っていきけるように肉を持つ時間を過ごしていくことが、自分にとって何よりの優しさですよ。……………29
- 15 指針通りに学んでいけば、本当に幸せな自分と出会えます。……………31
- 16 心が穏やかで、ふっと思えば嬉しくて、優しい自分を感じているならば、幸せですよ。……………32
- 17 来る日も、来る日も瞑想ですよ。……………33
- 18 本当の自分の存在を知らずに、本当の自分の存在が信じられずに、そういう状態で、幸せも喜びも分かるはずはない。……………34
- 19 私は、今のこの肉を通して、真実の波動、エネルギーを心に感じられることがただただ、ただただ、ありがたいですよ。……………35
- 21 私の瞑想は、愛を思う瞑想が主流となっているような感じがします。……………37
- 22 きちんとした一定のリズムの生活があるから、正しい瞑想ができ、心の針を正しい一定の方向に向けて合わせていけるのか、……………38

- 23 そうです。自分の中の愛に触れ、自分の中の愛を感じ始めていけば、自ずと田池留吉と呼びたくなるんです。……………
- 24 連日、瞑想、瞑想、正しい瞑想をとホームページに載っているのだから、学んでいるかという方達は、全員、瞑想を毎日されていることでしょう。……………
- 25 瞑想をして、自分の存在理由が分かればいいではないですか。……………
- 26 今という時がどんなにありがたいかは、皆さん、それぞれに心に感じておられる今だと思えます。……………
- 27 自分を幸せに、喜びにいざなっていくのに、何も要らなかった。全部自分の中にありました。……………
- 28 田池留吉を思う、アルバートを思う、次元移行を思う、愛の中にあつた自分を思う、それらが日常化していけば、ふっと思っただけで、自分の中に帰れる喜びと安心があります。……………
- 33 まず、今、肉を持つているあなたが、自分の中の愛のエネルギーの存在を確信する方向に自分を進めていかなければ、自分から愛が流れることはないし、……………
- 34 瞑想をして、いつも感じることは、肉を持たせた自分の思いに誠実でありたいということです。……………
- 35 肉体をいただいた喜びもさることながら、自分に肉体を持たせた思い、自分に肉体をくださいと懇願した思い、私は、その方に、自分の心を向けることが多いです。……………
- 37 意識の世界は何もない世界。何もないけれどそこに確かにある。何があるか。それは自分の心で感じていくしかありません。……………
- 38 愛、その波動、エネルギーの強さ、パワーのすごさ、まさに熱風と表現しても言い過ぎでないほどの熱さ、それらを体感できる喜びを通して、……………
- 39 田池留吉に心の針を向けて合わせるといふ表現は、瞑想をしやすいようにしているのか、反対に難しくしているのか、微妙です。……………
- 40 形ある中で、自分もまた肉という形を持って、波動、エネルギーの世界しかないことを実感し、確信を深めていくことは、簡単なようで難しく、難しいようで簡単だと言えます。……………

- 46 愛に心を向けるだけです。愛、自分の中の愛。本当の自分に心を向けるだけです。 55
- 47 正しいルートに自分を乗せていけば、どんどんその道は広がっていきます。…… 57
- 49 学びは、躍進的に進みます。瞬間的に感じていく喜びと幸せ。…… 58
- 51 温かく優しくまばゆいほどに差し込む陽の光。今朝も元気でまた一日が始まります。…… 59
- 52 瞑想、正しい瞑想を通して感じる喜びと温もり、優しさ、広がり、その度合いをどんどんどんどん大きくしていくこと、それが本当の喜びと幸せの人生、それが本当に心から切望してきたことでした。…… 60
- 54 自分の中に心の針を向け、自分の中の田池留吉、つまり本当の自分を感じる瞑想を重ねることによって、自分の計画、自分の予定してきたことを崩すわけにはいかないことが、はっきりと響いてきます。…… 61
- 59 自分がするべきことは何なのか。本当にするべきことは何なのか。そして、自分が本当にしたかったことはいったい何なのか。…… 63
- 60 愛のエネルギーの注入。一瞬にしてエネルギーが働いていく様を肉で確認したならば、あと残すのは瞑想のみ。…… 64
- 65 「自分の中にすべてがある。自分の中に温もり、優しさ、喜びがある。心を自分の中に向けていけば、本当の自分が応えてくれる。」…… 65
- 78 愛のエネルギーが流れ続けていることを、色々なことを試しながら、楽しみながら知っていき、しかし、そこに一本、道をズバツと通さなければならぬ。…… 66
- 79 「どのようにして生きていけばいいのか。何を求めて生きていけばいいのか。どうすれば心から幸せだと思えるのか。…… 68
- 81 自分(愛)に帰る道、それを自分の中で知り、その道を一步、一步、歩んでいき、そして、歩みをしっかりとしたものにしていって、その喜び、幸せを、五官を閉じる正しい瞑想で味わっていき、味わい尽くす。これこそ、肉を持ってここにある喜びだと私は感じています。…… 69
- 87 本当の自分の世界は限りがなく、愛へ帰る道は永遠に続いていく喜びの道です。 70

91 本当のことを知るために、本当のことを自分に伝えるために生まれてきたんだと、自分の心で本当に知ったとき、何もかもうまく仕組んできたと思わざるを得ないです。……………

92 誰しも耳に心地良い言葉を聞きたいし、優しい態度で接してもらいたいですよ。

100 正しい瞑想は、自分の中に喜びと温もりをしっかりと広げていけるたった一つの方法です。……………

104 私は、来る日も、来る日も瞑想を続けています。自分に誠実に、自分に素直に、そして自分の肉体細胞の思いを感じながら、私は、日々、瞑想を重ねています。

106 何度でも、繰り返し感じ広げていける温もりの世界、喜びの世界。これは大切なことだと思えます。……………

107 日々、淡々と一定のリズムの中で暮らす。そして、その中で、自分と自分の中の対話を楽しみ、自分が今、ここにこうして肉を持っていてる現実を、ただ素直に喜び、それを自分の糧として、これからの自分の時間に思いを馳せていく、……………

110 どんなことにも言えますが、ポイント、ポイントがずれて、外れていては、徒労に終わってしまいます。……………

112 何で生まれてきたのか。何をするために生まれてきたのか。……………

115 たっぷりと時間があるようで、時の経つのは速いです。……………

120 自分の中からどんどん湧いてくる温もりと喜び。そういう感覚を瞑想の中で確認することによって、どこに心を向けていけばいいのかが具体的に分かんと思うんです。……………

121 生きる喜びとは何ですか。正しい瞑想ができることです。……………

128 瞑想で始まって瞑想で終わると言ってもいいほど、瞑想、瞑想、瞑想だけです。

137 新緑が目には鮮やかな季節。まばゆいほどの陽の光と緑。そして心地良い風。心も自然に和みます。……………

139 自分の中の田池留吉（＝本当の自分）とともに生きていくことが、どんなに喜びであるのか、感じてきましたでしょうか。……………

141 愛へ帰る我が道を、ただひたすらに真摯に淡々とそして、喜んで歩いていく、それはすべての意識達に用意されていることです。……………

- 142 どんなに目に見えない世界を求めようとも、科学的な見地からどんなに真理を追
究しようとも、またどんなに厳しく自分を律し、精神修養を重ねても、……
- 151 本当の喜びと幸せが自分の中で広がっていけば、どこにいても何をしていても、
思えば嬉しいのです。思うだけで嬉しいんです。……
- 153 正しい瞑想が自分を正しい方向にいざなっているのは、実感していますが、もち
ろん、それには肉も元気で思いも前向き、つまり体力、気力の充実は欠かせませ
ん。……
- 162 瞑想が大切だということは、学びをしていけば、どなたにも分かってきます。で
は、瞑想は喜びだ、瞑想は楽しい、瞑想だけだということについてはどうでし
うか。……
- 163 外に向いてきた心を、自分の中に向けていくことは、簡単なようで難しいと思
います。……
- 164 死ぬまで元気で瞑想三昧。ただひたすら前進あるのみ。その手ごたえはずっしり
と心の中に。……
- 166 「あなたは愛です。」このメッセージほどすごいものではありません。……
- 169 何をするために生まれてきたのか。何かをしなければならなかったんです。……
- 170 瞑想をする喜びを本当に心に感じてください。……
- 171 思えば嬉しい。思えば通じる。瞑想の素晴らしさです。……
- 180 時間があれば瞑想をしてください。日々の生活の中で、瞑想をする時間をきちん
と確保することは、言うまでもなく最も大切なことですが、……
- 182 正しい瞑想を重ね、自分の中の喜びと温もりを、「私は愛です」という思いを、深
めてください。……
- 192 愛に帰る道をただひたすら真つ直ぐに。……
- 200 自分のするべきこと、進んでいく方向をしつかりと見極めたら、あとは、ひたす
ら真つ直ぐに、肅々として事は遂行されていきます。……
- 209 愛へ帰る、本当の自分に帰る、それしかないんです。それだけをするために、私
達は何度も生まれ変わってきました。……

- 210 心を見るといこうこの学びをしつかりと自分の中に叩き込み、自分に忠実に真摯に
向き合っていこう、それが人生なんだと心で感じている場合は別として、……………
- 219 五訓にもあります。何を間違えたのか、なぜ間違ったのかと。……………
- 222 「自分は何を信じてきたのだろうか。何を信じているのだろうか。惰性で、あるい
はその時の勢いで学びをしていないだろうか。」……………
- 226 心に響き、伝わってくる波動の世界を、肉を通して真っ直ぐに伝えなさい。……………
- 236 「あなたは何のために生まれてきたのでしょうか」と私が問いかければ、あなた
の意識の世界は即座にどのような答えを返してくるでしょうか。……………
- 246 心を向ける喜びを感じていますか。思う喜びはどうでしょうか。……………
- 248 思いを向ければ、ただただ幸せです。こんな肉の時間を用意してきたこと、本当
に幸せだと、皆さん心に感じておられるでしょう。……………
- 258 私の中の愛が仕事をする。その感覚を瞑想の中でさらにしっかりと確認していこ
うとしているのが、私の今のお勉強です。……………
- 259 脱神。脱仏。……………
- 264 あなたは、今、瞑想をして喜びを感じていますか。……………
- 269 もう本当に、自分はエネルギーなんだ、たくさんの凄まじいエネルギーの塊なん
だと、本当に心から知ってください。……………
- 273 愛を思い、宇宙を思い、異語で語る瞑想の時間を大切にしていきましょう。心が
ほどけていく喜びと幸せを感じていきましょう。……………
- 275 自分を見失い、自分の心を捨て、苦しみに沈んできたけれど、こうして今とい
う時を自分に用意してきたことが、本当に嬉しいです。……………
- 277 私は、私の勉強として、これまでずっと、一人で瞑想というスタイル一本でやっ
てきましたが、少し前からクボハウスを活用させていただき、私の勉強を試みて
います。……………
- 279 心が敏感でどんどん意識を受けていることと、田池留吉に心の針を合わせる度合
いは比例しません。……………

- 284 「あなたは自分の中が進化していますか。その手ごたえを実感していますか。」…
- 287 心に響く確かなもの。それは温もりと言っています。喜びと言っています。…
- 290 あなたは学びの成果を出していますか。あなたの過去、未来、今のあなたを通して、どのような思いを伝えてくるでしょうか。…
- 295 瞑想は喜びとなっているでしょうか。心の底から喜びとなっているでしょうか。
- 313 思うことが愛です。そう、思いを向けることが、それが愛。…
- 319 もうまもなく、「愛、心のふるさと」の本ができてきます。…
- 320 自分が作ってきた凄まじいブラックの宇宙を私は知っています。…
- 323 思う、思う、思うことがどれだけ喜びであるか。すごいと思いました。…
- 331 何が嬉しいって、私は、やっぱり自分の中から、お母さんって、アルバートって呼び出す、このエネルギーがたまらなく嬉しいです。…
- 335 心に向けていくほどに心で応えてくれます。…
- 340 自分に目覚めるために、愛である自分に目覚めるために、こうして何度も、何度も、産んでいただいたんです。…
- 342 三〇〇年に向けての土台作り。基礎固め。私自身は今世の肉を持って学ぶ時間をそのように心得ています。…
- 343 昨日、クボハウスでセミナーがありました。遠方から来られた方のことを考えると、こんな近距離で学ばせていただけのことに感謝でした。…
- 347 ともに瞑想をということで、去年の夏頃から勉強の時間を持たせていただいています。…

テーマ「異語」

- 118 特に、宇宙に思いを向けていけば、異語がどんどん出てきます。……………
- 138 「私達は本当に幸せです。田池留吉と思えば、心の中に温もりが噴き上がってくる、こんな嬉しい思いを何度も繰り返し体験できるなんて。」と私の中が言ってきました。……………
- 159 最初から幸せだったと心で感じている今でしょうか。……………
- 191 瞑想を生活の中心に据えていますか。正しい瞑想を重ねてください。……………
- 207 ふるさとの替え歌、我ながらいいできたと思います。アカペラで一人口ずさんでください。きつと心に響いてくるものがあると思います。……………
- 208 田池留吉を思い、母を思い、そして宇宙を思っていきましょう。……………
- 217 ふるさとの替え歌を半身浴の時に歌うのが日課となっています。……………
- 271 愛へ帰る道、しっかりと自分の心に見えていますか。……………
- 32 学びは実に簡単です。今、苦しいならば間違って存在しているんです。……………
- 157 いわゆる、少人数セミナーはその裾野を広げています。……………
- 165 愛を思い瞑想。宇宙を思い瞑想。異語が溢れ出てきます。……………
- 177 あなた、自分の道が見えていますか。見えてきましたか。……………
- 231 多い人で三〇年、大方の人は二〇年ほど、田池留吉のもとで学びを進めてまいりました。……………
- 253 愛へ帰る道を、一步、一步、着実に歩んでいますか。それとも、いまだに他力の神々に、自分を売り渡しているのでしょうか。……………

テーマ 「著名人に語りかける 1」

ヒトラー (Adolf Hitler) さんに語り掛けました。……………

チャールズ・ダーウィンさん、語ってください。……………

アルベルト・アインシュタインさん、あなたの今の状態を語ってください。……………

アイザック・ニュートンさん、今、あなたは、どのような状態であるか、どうぞ、語ってください。……………

ニコラウス・コペルニクスさん、地動説を提唱されたあなたです。今、あなたに語り掛けています。……………

ガリレオ・ガリレイさん、あなたは、今、どのような状態ですか。心の中に苦しい思いを抱えていますね。その苦しさをお伝えください。語ってください。……………

ルネ・デカルトさん、私達は、「今、私達は愛である。愛以外は何も存在しない。愛のエネルギーに満ち溢れている。愛のエネルギーを知っていきましょう。愛のエネルギーの中にあつた私達だつたと知っていきましょう。」そんな学びをさせていただいています。……………

古代ギリシャの哲学者、アリストテレスさんのほうに心を向けてみます。アリストテレスさん、語ってください。……………

古代ギリシャの哲学者プラトンさん、あなたも心を語ってみてください。……………

ギリシャの哲学者、ソクラテスさん、あなたは正しく生きてきたと今、言えますか。そして、神のみぞ知ると言つたあなた、神はありましたか。……………

222

215

207

200

193

186

180

173

168

162

※この冊子は、田池先生のホームページ (<http://w01.jp1.jp/~a861626601/>) に掲載された内容をまとめたものです。

テーマ 「瞑想」

6 思ってください。思いを向けてください。

自分の中の優しさと温もり、そして喜びを信じて思いを向けてください。

どんどん自分の中の優しさと温もり、喜びを感じてください。

湧いて出てきます。突き上がってきます。

だから、自分に思いを向けていくことが、たまたま嬉しいんです。

ただただ、ただただ幸せだと思えます。

お母さん、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。溢れ出てきます。

どうぞ、瞑想の喜びを心に広げていきましょう。

瞑想は喜びです。目を閉じて思いを向けていけることを、心から、心から喜んでいきましょう。

7 私は、愛の水素水を飲用し、早寝早起きの規則正しい一定のリズムの中で、日常を送っています。生活のリズムをできるだけ崩さないように心掛けています。

適当に身体と頭を動かしています。もちろん心は動きます。動く心があるからいいんです。そして、何よりも、瞑想をする時間の確保は絶対です。

心に向ける、心の針を合わせる、その重大さ、その喜びを、私は、正しい瞑想を重ねながら、自分の中で確認する日々です。もちろん、愛のエネルギーの注入された道具を活用しています。

しかし、私の中では、水素水を飲むときや、たとえば入浴するとき、ふっと愛を思いながら飲んだり、お湯に浸かったりと、自然とそのようになっていきます。私はそれが何よりも大切なことだと思っています。

そして、それは、やはり、正しい瞑想を中心に据えた生活習慣の賜物だと理解しています。

瞑想をして心に響いてくる波動の世界は、私の中でいつも変わらずに、温もりと優しさ、喜びを伝えてくれます。

ただただ、この波動の世界と出会いたかった。そしてそれが、今、現実のもの

となっている。こんな幸せなことはありません。

だから、瞑想は喜びです。瞑想をして、自分の中の温もり、優しさ、広がり、そういう波動の世界を感じられることが幸せなことではないでしょうか。

8 瞑想をして、絶えず感じることは、私は私の道をまっしぐらに進んでいく喜びです。私の呼び掛けに、私の中が反応してきます。

自分に、自分の本当の喜びとか温もりとかそういうものを伝えていける喜びが、肉に伝わってきます。肉に響いてきます。

目を閉じて思いを向ける、心の針を向け合わせていく、肉のできることはただそれだけです。

あとは、自分の中の愛が仕事をしていくんです。私は、瞑想を重ねて、そのように感じていきます。

愛のエネルギーの中にあつた私達でした。愛のエネルギーしかなかったんです。

その愛のエネルギー、つまりは本当の自分をどんどん心に感じられる、心に響いてくる、こんな時間と空間を自分に用意していること自体、愛以外にはありません。

愛があるからこそ、自分達が愛だったからこそ、自分の間違いに気付いていけるし、自分を促していけるし、すべては愛の中へ、すべては本当の自分へ帰っていきけるんです。

私は、日々の瞑想の中で、こんなことを感じながら、ただただ、ありがたいの時間を持たせていただいています。

9 田池留吉に素直に心に向けながら、自分の中の愛を呼んでいきましょう。愛に思いを向けていきましょう。

必然的に、そこにはUTAの輪の存在があります。

ともに、ともに帰ろうと呼び掛けました。

どうぞ、この呼び掛けを素直に受けてください。

私達は、愛の中へ、私達のふるさと、母なる宇宙へ、ともに、ともに帰る意識です。今、肉を持ちながら、どうぞ、このメッセージが心の奥底から響いてくるあなたと出会ってください。

私達はみんな間違っただけで存在してきました。自分の本当の姿を見失って、彷徨い続けてきました。

それは、瞑想をして、自分と対話していけば、心に響いてくるでしょう。しかし、それと同時に、だからこそ、自分は帰るんだ、帰れるんだと、心の奥底から、そんな声が、思いが、ひしめき合っているのも感じるでしょう。嬉しいではないですか。どうぞ、自分の声、思いにしっかりと応えていきましょう。

瞑想を継続して、自分の歩みを一歩、前へ進めていきましょう。
愛に帰る道を、ただひたすら真っ直ぐに見つめていきましょう。

12 「私は愛だから、今のこの肉を持っているし、今のこの環境設定の中で、真実の波動を感じていけるようになっていくし、そう、すべてが愛だから、そういう意識の流れの中にある自分であることを感じられる。」

あなたはそうのように思いませんか。

きっと瞑想をして、同じことを感じてもらえると思います。

そうなんです。私達は愛だから、愛しからないのだから、こうして、真実の世界にいなわれているんです。本当にごくごく自然なことでした。

その自然のことに逆行していけば、幸せになんかなりっこないし、いつまでも、どこまでも闇黒の中に沈むしかないでしょう。

瞑想を継続です。正しい瞑想を積み重ね、本当の喜び、本当の幸せ、本当の温もりで自分を包んで、包んでいきましょう。

それができる私達なんです。いいえ、そうしていくことが自然なんです。

13 正しい瞑想、正しい瞑想と言うけれど、正しい瞑想とは、田池留吉と素直に呼べるか、田池留吉に素直に思いを向けられるかということですよ。

そうでないならば、正しい瞑想はできません。そもそも、素直に呼べない、素直に心向けられないのは、他力のエネルギーを心にずっしりと、ぎっしりと詰め込んできたからでした。

従って、その確認のために、昔の闇出し現象、今で言うならば大噴出のお勉強を重ねてきたわけです。

そして、今は反転、反転と、少しでも正しい瞑想ができるように、自分の中をマイナスからプラスへ転換していくことが主となっています。

いわゆる自己供養をするために生まれてきたのだという学びの基本に何ら変わりはありません。

自己供養、すなわち自分の中の反転力を高めていけば、それは自ずと正しい瞑想に繋がっていきます。そして、田池留吉と素直に呼び、田池留吉に素直に心を向ければ、アルバートを心から呼んでいる自分の中のたくさんの自分に出会えます。

そうなってくると、二五〇年、三〇〇年に至る次元移行という意識の流れは、自分の中にしっかりと響いてくるし、響いてくればくるほどに、瞑想が大切です。瞑想が喜びで、正しい瞑想しかないということもしつかりと分かっています。

そして、これらの一連の作業は、みんな愛の中で響き合っていることも感じられます。全部繋がっていることが感じられるんです。何と繋がっているのでしょうか。それは母の温もりです。根源的な温もりです。本当の自分です。

14 死んでも消えないものを知っていくこと、知っていけるように肉を持つ時間を過ごしていくことが、自分にとって何よりの優しさです。

それは、本当の自分の温もりだとか優しさを知り、感じているからこそ、そう言い切れるのだと思います。

日々、瞑想を積み重ねていくのは、継続して、淡々と、真摯に自分と向き合い、自分と対話し、自分を感じていけるのは、自分の中に、本当の温もりと安らぎを感じているからではないでしょうか。その自分と触れていたい、その自分を感じていたい、それが瞑想の喜び、瞑想の醍醐味です。

心の針を自分の中に向ける大切さ、尊さ、喜び、優しさ等々、今の肉を通して感じて、感じていきましょう。そして、自分の用意してきた肉の時間を過ごしていきましょう。終わっていきましょう。

その過程で、これまでは真つ黒なエネルギーだけを垂れ流してきた自分が、ようやく愛の本来の自分を流していけるなんて、こんな幸せなことはありません。

私には、悩みや心配事が何もないので、一日、一日を自分のペースで生活して、あとは、瞑想、瞑想の自分の時間を大切にしています。

思えば幸せです。何の過不足もなく、本当にうまく回っていると感じています。

15 指針通りに学んでいけば、本当に幸せな自分と出会えます。いいえ、初めから幸せだったことが、手に取るように分かります。本当にそうなんです。

私達は、初めから幸せでした。すべてを整えています。自分の中の本当の自分、愛を蘇らせるために、すべて整えていたんです。

それが私には分かったんです。だから、私は、自分の感じた世界に何の揺らぎもありません。自分のこれからにも何の揺らぎもありません。

二〇年余り学ばせていただいた結果を受けて、私は、自分の道をしっかりと歩いていきます。

瞑想をすればするほどに、自分が今生まれてきた決意の強さも感じるし、これからの自分も感じるし、私にとって、本当に最高の時間を過ごしています。

瞑想は喜びです。瞑想だけが真実を伝えてくれます。何も要らない。ただ、感じる心があるからそれでいい。私は、そのように思っています。

16 心が穏やかで、ふっと思えば嬉しくて、優しい自分を感じているならば、幸せでしょう。取り立てて何もないけれど、ふっと思えることが幸せ。

こんな日常の中で、しっかりと本来の自分の歩みを確認しながら、自分の中で対話を進めながら、という時間はとてもいいものです。

昼間は、随所で自分のエネルギーを感じながら生活をして、そして夜、朝、静かでゆったりとした時間の中で自分を感じていく生活、いいですね。一日、一日、自分に用意した時間が過ぎ去っていきます。一日、一日、自分の中の温もりと喜び、幸せを確認しながら、自分の中のエネルギーを確認しながら、そうできることが幸せの中にある証明です。

本当の自分を心から知っていく、心から感じていく、いいえ、その前に本当の自分の存在を信じるのが肝要です。本当の自分、すなわち真実は自分の中にあつた、そこへ辿り着くことが肝要です。

17 来る日も、来る日も瞑想です。正しい瞑想ができるように、最大限、可能な限り努めてください。努めていくことが自分に対する誠意です。自分に対する優しさです。自分を救う優しさに、自分に本当のことが伝えられる喜びに、一日も早く出会っていきましょう。

瞑想をしていない人、継続的に瞑想をしていない人、瞑想が日常化していない人は、学んでいるとは言えません。

なぜ瞑想をしようとしなのか、なぜ瞑想が継続的、日常化にならないのか、そここのところ、しっかりと自分に問い質してみてください。

また、瞑想ができない人もいます。瞑想をすれば苦しくなるとか、不安になるとか、恐怖であるとか、心がざわついてくるとか、そういう状態の人は、本当に真剣に心の針を向けて合わせていけるように、本当に必死でしていかなければならないでしょう。

瞑想は喜びです。喜びの自分、温もりの自分と出会える時間と空間です。

ブラックのエネルギー、喜びです。大変、大変ありがたいです。そのブラックのエネルギーこそが、愛に帰る喜びとパワー、温もり、優しさ、限りない広がりを伝えてくれるんです。

私達は愛だからです。愛しか存在しないから、愛のエネルギーに蘇っていく喜び、喜びをどんどん心に溢れ出していける喜び。そんな喜びとともに存在してまいります。

18 本当の自分の存在を知らずに、本当の自分の存在が信じられずに、そういう状態で、幸せも喜びも分かるはずはない。こんな簡単なことが分からなくなってしまうた私達でした。

瞑想を重ねて、重ねて、ただただ瞑想の喜びを味わっていけばいくほどに、本当にそうだったと実感です。

だから、本当の自分の人生を生きてきた人なんて、これまで全く皆無だったんです。

自分のすべきことをしないで、できないで、人生を終えていったことに対して、本当に自分に懺悔しかたないでしょう。

それでも、私達は、自分に生かされていました。こうして、自分に肉を持たせているからです。

自分を裏切らずに存在していける喜びを、瞑想の中で感じて、感じていける、そんな瞑想の時間を、可能な限り、たくさん、たくさん持っていきましょう。私は、自分の時間を自分に捧げていく、そんな思いで自分とともに歩みを進めています。

19 私は、今のこの肉を通して、真実の波動、エネルギーを心に感じられることがただただ、ただただ、ありがたいです。

田池留吉の波動、愛、そのエネルギーに心を向けていける喜びだけが広がっていきます。

思える喜び、心向けられる喜びです。

私はそんな喜びを、今、どんどん心に感じていきます。だから、私は、自分のペー
スでどんどん瞑想を継続、重ねていきます。義務とか欲とかそういうものではな
くて、ただ瞑想をすることが喜びなんです。

愛に向かってどんどん瞑想を続けます。そして、自分の心に響き感じた喜びの
エネルギーをどんどん発信していきます。

この中心へ向かう動き、中心から発信する動き、これらの動きの中に存在して
いる喜びを瞑想の中で味わっています。

どうぞ、心に向けていきましょう。自分の心の針を合わせていきましょう。素
直にただひたすらに、喜び、喜びで心に向け合わせていく喜びを感じて、感じて、
感じていくだけです。

21 私の瞑想は、愛を思う瞑想が主流となっているような感じがします。

もちろん、お母さん、田池留吉と心に思い、心と呼んでいくところから始まって、
あとは愛が出てきます。

「私は愛です」というメッセージが心に広がっていきます。

そうすると、「あなたは愛です」と私の中から思いが流れ出してくるのを感じま
す。

自然に宇宙を呼んでいます。宇宙と思い、私は愛を思っ
て瞑想をしています。自分の中に優しさ、温もりの何とも言えない思いが感じられる。

こんな瞑想の時間を毎日持てることが幸せです。

私は本当にそのように実感しています。形のない私自身を感じていくことが、
本当の喜び、本当の温もり、本当の幸せを知っていくことだったんだ、改めて瞑
想の喜びを味わっている日々です。

22 きちんとした一定のリズムの生活があるから、正しい瞑想ができ、心の針を正しい一定の方向に向けて合わせていけるのか、正しい瞑想を遂行しているから、日常生活もまた一定のリズムで流れていくのか、はたまた両者が同時進行なのか、どれがどうとは言えませんが、とにかく、瞑想をすることは何よりも肝心なことだし、瞑想が進んでいけば、自然に生活も本当にシンプルに、そしてしっかりとしたものになってきます。

肉の心も身体もすっかりとして、だからこそ、瞑想、正しい瞑想を継続、そして日常化して、さらに意識の世界、波動の世界の素晴らしさを心に感じていけるのではないのでしょうか。

肉を持っている喜び、肉を持っている素晴らしさ、肉を持っている幸せ、そういうものを、瞑想を通して心から感じられるということでしょう。

快適な生活、人との繋がり、物質的豊かさ、そういったいわゆる肉の喜び、肉の幸せは、瞑想の素晴らしさを心に感じ知ってこそ、本当の喜び、本当の幸せにものになら得ません。肝心要を抜いてしまえば、それらは空虚な繋がっていくのではないのでしょうか。

23 そうです。自分の中の愛に触れ、自分の中の愛を感じ始めていけば、自ずと田池留吉と呼びたくなるんです。田池留吉と呼ぶ、お母さんと呼ぶ、思うことが喜びとなってきます。

呼んで、思っただけで喜びとなってくれば、さらに愛の自分の中が反応します。優しさ、温もり、安らぎ、色々と言葉はありますが、ただただ思えることが喜び、幸せの状態になってきます。

瞑想とは、目を閉じて思うこと。こんな簡単な作業で、響いてくる世界がありました。波動、エネルギーの世界です。

言うまでもなく、私の思いは、自分の中の宇宙に向けられていきます。思わずアルバートと、私の中が叫ぶんです。宇宙とともにアルバートを呼ぶ私の中には、

ただただ喜びが込み上げてきます。心の底から求めてきた思いがどんどん、どんどん心に響いてきます。

私には、それがただただ嬉しくて、嬉しくて、たくさん宇宙、たくさん自分を感じられることがただただ嬉しいんです。

だから、私は、瞑想は喜びだと言っています。瞑想は喜びなんです。瞑想して、どんどん自分の中の優しさ、温もり、喜びと出会っていきましよう。

ああ、瞑想しかない。確かに広がっていく世界、波動、響いてきます。

24 連日、瞑想、瞑想、正しい瞑想をとホームページに載っているのだから、学んでいこうとしている方達は、全員、瞑想を毎日されていることでしょう。それでも、瞑想を疎かにする人はいったいどういふつもりなのでしょう。

瞑想は毎日です。瞑想は毎日、毎日するものです。毎日、毎日、自分なりにして、だからこそ、瞑想についても色々なことが分かってくるのです。

そして、自分の心で感じたこと、体験したことを参考にして、また自分の中でどんどん心を開ける作業を進めていけばいいのではないのでしょうか。

瞑想といってもみんながみんな同じではありません。しかし、だからといって、人と比べてどうということは無駄なことであり、禁物です。案外、そういう話をしているうちに、どこかともない方向に行ってしまうかもしれません。

意識の世界のことについて、いわゆる目に見えない心でしか分からない世界のことに、情報交換して、話し合つてというわけにはいかないではないですか。それよりも自分の中の中心棒の確立を目指し、愛の自分を目覚めさせていく方向に、自分のエネルギーを注いでいく、つまりは心の中へ、中へ、愛へ、愛へ向けていこうとする、そういうことにエネルギーを、そして時間を費やしていくことがベストではないでしょうか。

25 瞑想をして、自分の存在理由が分かればいいではないですか。

瞑想をして、自分がなぜ生まれてきたのか、産んでいただいたのか、心に響いてくれば、こんな幸せな喜ばしいことはないでしょう。

肉、肉で形の世界を本物として活動している人達は、みんな彷徨っています。彷徨いながら、苦しみ続けながら、自分が彷徨っていることも、苦しみ続けていることも分かりません。知りません。

天国、地獄があると聞いているから、死ねば天国に行くのか、地獄へ行くのかと、その程度で、本当に死んだ先は霧がかかっている状態です。だから、今を刹那的に生きているという人が殆どではないでしょうか。

また、苦しくて、辛くて、悲しくて、やるせないことが人生の時間の中には、往々にしてあるんだ。だからこそ、そういうことが自分の周りに起こらないように祈るし、願う。幸せになりたいんだ。人と人との絆を大切にして、今ある命を大切にしなければならぬ。小さく、小さく生きている人が殆どではないでしょうか。

その濁流の中に今いることをしっかりと確認しながら、愛を思う瞑想、「私は愛です」と中から響いてくる時間と空間をしっかりと持っていきましょう。

すべては愛。愛しか存在しないと響き伝わってくる波動を心で感じられるようになっていきましょう。

26 今という時がどんなにありがたいかは、皆さん、それぞれに心に感じておられる今だと思います。

長い、長い転生を経て、ようやく今、愛の中にあつた私達だったことを自分の心で学ぶ絶好のチャンスに巡り合っています。

瞑想をすると、このことがはっきりと感じられます。

どんなに待ち望んできたことか、どんなにしても分からなかったことが、今、自分の目の前に広がっていて、思えば通じる体験が、何度も、何度も、繰り返し、繰り返しできることが、本当に夢みたいです。

しかし、夢ではなかった。現実でした。現実に響いてくる世界、波動、エネルギーの存在を確認しながら、こうして存在できる幸せをかみしめています。

だから、「お母さん」と思うと「ありがとう」しか出てこないのではないのでしょうか。全く特別なことではなかった。それが自然なことでした。それを全部忘れ去り、捨て去った愚かな自分だったことを、本当に心から出会って、私は、今、幸せ、ありがとうをかみしめています。

27 自分を幸せに、喜びにいざなっていくのに、何も要らなかった。全部自分の中にありました。私自身が幸せ、喜びの存在でした。その私自身を感じて、私自身を信じて、そして、私に戻っていけばそれでよかったです。

こんな簡単なことが、何億年もの長い、長い間、気付けなかったなんて、これまた信じられない話でした。

そして、これからずっと、自分の喜びの時間は永遠に続いていくことを、心に感じ、その自分というものの存在、愛を、次元を超えて知っていけることが壮大な意識の流れなんだと、瞑想をして感じます。

たくさんの転生、たくさんの過ち、どれもこれもみんな宇宙に垂れ流してきた膨大な闇のエネルギーですが、愛のエネルギーだった自分に目覚めていけばいくほどに、そんな膨大なエネルギーもまたすべては愛に帰るエネルギーだったんです。

宇宙を汚しまくってきた自分の中に、ただただ愛に目覚めてくださいと本当の自分が息づいていた現実、事実に出会って、私は、今、さらに瞑想を重ねていこうと感じています。

28 田池留吉を思う、アルバートを思う、次元移行を思う、愛の中にあつた自分を思う、それらが日常化していけば、ふっと思っただけで、自分の中に帰れる喜びと安心があります。そうしながら、日々の生活を続けていく、そんな一日、一日が

過ぎ去っていきます。

思うことを知りました。思える喜びを知りました。あとは、どんどん自分の中で、思える喜びを広げていくだけです。思える喜びは、本当に今世の肉を通して、私の全宇宙に伝わっていきます。

瞑想をすることを伝えていただいてありがとうございます。

瞑想ができる自分であることに感謝します。

自分の中の本来のパワー、愛に目覚めていけばいくほどに、自分という存在そのものにありがとうだけでした。ともに歩める幸せを感じます。

33 まず、今、肉を持っているあなたが、自分の中の愛のエネルギーの存在を確信する方向に自分を進めていかなければ、自分から愛が流れることはないし、愛を堰き止めていては、なぜ自分が今の肉を持っているか分からない、という学びに触れていない人達と、何ら変わりはありません。

しかし、あなたは決して特別な存在ではありません。今世、学びに触れたからどうということはありません。

ただ愛に目覚める、本当の自分に目覚めるために存在してきたこと、これからも存在していくことを、本当に自分の心で知っていくチャンスが目の前にやってきただけのことです。

それを活かすかそうでないか、あるいは十分に活かすかそうでないか、それはひとえに自分にかかっています。

みんなすべての意識は、大いなる存在です。なぜならば愛の中に一つだからです。自分を肉、形としてしか見れないから、他力に走ってしまったんです。他力に自分を売ってしまったんです。

その愚かさに心から気付くことから始めなければならぬでしょう。

それにはこれからの転生という時間もありますし、そこには、必ず天変地異という現象が待っています。

他力のエネルギーから、自分を解き放つことは一朝一夕にはできませんが、焦らず、弛^{なほ}まず、真摯に、自分と向き合う素直さが何よりも必要とされます。

それをしっかりと知って、愛を思い、宇宙を思う。この瞑想の素晴らしさを、やはり、自分の心で堪能できるというのが、今世、学びに触れた大きな成果なのではないでしょうか、というのが私の今です。

心ひとつあればいい。思える心、この私自身がここに存在していればそれでいい。そんな感じで瞑想を重ねています。

34 瞑想をして、いつも感じることは、肉を持たせた自分の思いに誠実でありたいということなのです。

心の底から突き上がってくる、待っていたという思い。私はこの自分の思いに、何としても応えていこうとしてきましたし、これからもその自分の思いに忠実に存在していきます。

肉を持って、自分にありがとうが言えるなんて、私は本当に嬉しいです。本当にそのことが喜びだと思っています。

自分にありがとう、自分を愛しく思う、そんな歩みを一步、一步、しかし、着実に継続していくこと、それが私にとって幸せなことなんです。

「私は愛である。存在は永遠なり。」

常に、私は、そうして瞑想を継続しています。心の中から湧き起こり、突き上がってくるエネルギーは、すべてが愛に帰る、喜びだと、温もりだと伝えてくる私です。ブラックなど存在しない。マイナスなど存在しない。ブラックをブラックだと放置し、あるいは遮断し、そして隠蔽しようとするから、ブラックはさらに大きく成長していくのでしょうか。

「私達は愛でした。温もりでした。喜びでした。ともに帰ろう。」

しっかりと真つ直ぐに伝えていける喜びを、瞑想の中でどんどん味わっていきましょう。瞑想が楽しくなります。瞑想が喜びとなります。思いを馳せる、思い

を向ける、何よりも、何よりも大切なことだと分かってきます。

35 肉体をいただいた喜びもさることながら、自分に肉体を持たせた思い、自分に肉体をくださいと懇願した思い、私は、その方に、自分の心に向けることが多いです。

絶対に、何としてでも、今世肉体をくださいと言ってきた自分の思いを思つて瞑想をするんです。

そうすると、必ず自分との固い誓いが思い起こされます。

全部、自分が設定してきたことに対して、どんなにこの時を待ち望んできたか、私は私の思いに驚き、しかしそれがただただ嬉しくて、ああ、私は、この自分の思いとともに存在していこう、いきたい、そんな思いがどんどん、どんどん突き上がってきます。

昔、昔、瞑想などしても、何にも響いてこなかった私にとって、今の私の状態は、本当に奇跡としか思えないほどのものです。

こんな意識の世界にあった自分、いいえ、これが私だったんだ。今、肉を持ちながら、ある意味、本当に不思議で、不思議でたまらないというのも、私の偽らざる思いです。

37 意識の世界は何もない世界。何もないけれどそこに確かにある。何があるか。それは自分の心で感じていくしかありません。

形を伴う様々な実験とか試みを経ていく一方、波動、エネルギーしか存在しないことを、どんどん自分の心で感じていくしかありません。

その手段は瞑想。正しい瞑想です。

一枚のティッシュ、一枚の万札、形の世界で使用すれば、その価値は全く違うが、それらに愛のエネルギーを注入した効果は全く同じ。ティッシュより万札のほうが、愛のエネルギーが大きく働くということは全くなし。

この切り換え。やはり最後に大きく浮かび上がってくるのは、意識の転回です。基盤の切り換えです。

ここをクリアしない限り、形を伴う様々な実験も試みも、肉の段階でストップしてしまいます。ということは学びもそれなりの段階で留まってしまおう。だから、瞑想、正しい瞑想は絶対条件。正しい瞑想ができるようであればならないという事になります。

38 愛、その波動、エネルギーの強さ、パワーのすごさ、まさに熱風と表現しても言い過ぎでないほどの熱さ、それらを体感できる喜びを通して、やはり意識の世界はすごい、波動の世界はすごい、愛のエネルギーはすごい、そういう単純な表現しかできないことが、何とも歯がゆい感じですが、それしか言いようがありません。

田池留吉に針を合わせていけばいくほどに、途轍もない、底なしのエネルギーを感じる。そして、それがただただ喜び。

過去、どんなに間違い続け、狂い続けてきた凄まじいエネルギーであっても、それらは、もはや苦しみの奥底のうめき、叫びではなく、愛に帰る喜びのエネルギー、喜びの雄たけびだと、そういったエネルギーの質の変換が、私の心にはつきりと響いてきます。

愛の中に一つだという心の体験を重ね重ねて、愛はパワーだという点について、もう一段アップできるよう学びます。

39 田池留吉に心の針を向けて合わせるといふ表現は、瞑想をしやすいようにしているのか、反対に難しくしているのか、微妙です。

しやすいというのは、田池留吉の肉、田池先生を思い浮かべて、そこから瞑想に入りやすいからということかもしれませんが。

それは、本来の瞑想では全くありませんが、最初の最初は仕方ありません。心

の針を向ける、合わせると聞いても、その向け先が具体的に分からないから、道しるべである田池留吉の肉を思い浮かべながら瞑想をしていく、初期の初期はそうかもしれない。

そして、どんどん自分の中に心の針を向けて合わせていくことを学習していけば、やがて、自分の中の田池留吉、本当の自分という存在を、どなたも確認できます。針を向ける、合わせる、瞬間的に。

その訓練、実習を日々の生活の中で、もちろん、瞑想の中で、積んでいく、そういう段階に学びはきています。ともに学んでいきましょう。

40 形ある中で、自分もまた肉という形を持って、波動、エネルギーの世界しかないことを実感し、確信を深めていくことは、簡単なようで難しく、難しいように簡単だと言えます。

ただ、ここを突破しない限り……、ということだけは確かです。

心に感じ、心に響くといっても、基盤が違えば云々という結論になってしまいません。

形ある中で、自分もまた肉という形を持って、基盤を変える。やはり至難の技だと言えるでしょう。

一方、学び、意識の流れは順調に、しかし飛躍的に進んでいます。

焦らず、弛^なまず、真摯な思いで学んでいきましょう。正しい瞑想を日常的に継続的に。肉でできることはそれだけです。素直になっ^ていきましょう。

46 愛に心を向けるだけです。愛、自分の中の愛。本当の自分に心を向けるだけです。その優しさ、温もり、喜び。

本当の自分をただだと思ひ、その自分に優しく、優しく、そして素直になっ^ていきましよう。優しさが込み上がってきます。喜びが込み上がってきます。冷たい暗い苦しい中であつた自分、そんな自分がすべて本当に愚かだつたことを心で

知っていきましょう。

肉、形の世界には真実はありません。私達は意識。目に見えない存在です。愛のエネルギー、愛の世界に生きる私達。その私達の存在をどうぞ心で感じてください。

愛に帰る。愛に帰る。愛の軌道を自分の中にはっきりと示す。それしか道はありません。たった一つの道を、しっかりと喜んで、ありがとうを流しながら進んでいける喜びを共有しましょう。

意識は流れています。愛は流れています。堰き止めないでください。ただ流してください。

どこまでも、どこまでも限りなく流れていく愛のエネルギーです。

どこまでも、どこまでも限りなく広がっていく愛のエネルギーです。

瞑想、正しい瞑想をしましょう。宇宙は待っています。たくさんの宇宙達が待っています。喜んで、喜んで、心に向けてください。

47 正しいルートに自分を乗せていけば、どんどんその道は広がっていきます。細い道ではありません。ふわっと広がって、ずうっと、ずうっと続いていく道を、ただひたすら進んでいく喜びだけが響いてきます。

だから、瞑想は日々、欠かせません。日課というよりもそれが私の時間なんです。もちろん、今、肉を持っているから、肉の維持に必要なことはやります。しかし、それはただそれだけです。肉の維持のために必要なことをやる。なぜならば、私には、今、肉が必要だからです。

波動の世界、愛のエネルギーを、今、肉を持って学ぶという私自身の計画を順調にこなしていくことが、これからの私を育んでいきます。そうできる喜びを確信しながら、私は、今日もまた一日を過ごしていきます。

すべてが愛。愛の中に存在している自分を感じていけることが喜びです。

49 学びは、躍進的に進みます。瞬間的に感じていく喜びと幸せ。

次元移行という意識の流れを本当に心で感じ、そしてそれが確信となっていくように、本当に日々、正しい瞑想ができるようになってください。

焦る必要はありませんが、いつまでも、神を握っているのは、その距離は大きく開いていきます。

それでも、どなたにも必ず転機が訪れます。

真剣に本気になって、愛へ帰る道をただひたすら歩いていこうと、自らの中が促していきます。

その時、そのチャンスを素直に受けていってください。

それまで全く分からなくてもいいんです。心に響いてくることがどういことか分からなくてもいいんです。

ただ、日々正しい瞑想ができるように、真摯に学びと自分に向き合っていこうとする思いを忘れずにいさえすれば、自分の道が開いていく瞬間に巡り合います。

そのチャンスを逃さないように。

次元移行は、すべての意識達に呼び掛けています。ただ、その呼び掛けに応じていくかは自己選択です。

意識の世界は厳しいです。真実の世界は厳しいです。厳しいけれど、それは真実だから、だから優しいんです。厳しさを伴った優しさこそが、本当の喜びだし、本当のパワーだと私は感じています。

51 温かく優しくまばゆいほどに差し込む陽の光。今朝も元気でまた一日が始まります。

自分のエネルギーを知っていくように、何もかも整えられた中で、こうして肉を持つていることが、すでに愛の中にあることを証明しています。だから基本はありがたいだけです。私は私を思うとき、本当にそう思います。

すべては自分が選び取ってきたこと。そしてそれを自分にどのように活かして

いくかも私は知っています。これはすべての意識に共通している喜びです。

喜びだから、愛だから、自分を知っていけるように、これまでずっと自分をいざなってきたんだと、私は、正しい瞑想を重ねて、そう実感しています。

愛に向かって歩いていく自分を確認できれば、あとは、決めてきたコースを淡々とこなしながら、いつも確認した自分に戻ればいいんです。

答えは自分の中にしかないということが心で分かっていたら、針の向け先は自分の中に決まっています。

私は愛ですという確認があれば、自らの軌道は自ら修正していくんです。愛だからです。愛しかないから、愛の方向に修正していくんです。そういう流れの中にあることを感じられることが、喜びなのではないでしょうか。

52 瞑想、正しい瞑想を通して感じる喜びと温もり、優しさ、広がり、その度合いをどんどんどんどん大きくしていくこと、それが本当の喜びと幸せの人生、それ

が本当に心から切望してきたことでした。

自分の中で、「はいそうです」と心から頷いておられますか。

あなたは、「私は愛です」と自分の中から湧き起こってくる、響いてくるメッセージに出会っていますか。出会っていけば、もう瞑想は、ただただ喜びでしょう。瞑想は喜び。心向ければいいだけだったんです。喜びも温もりも自分の中にあっただから。

そして、そのエネルギーは、これからの自分を告げてくれます。

正しい瞑想を通して感じる世界。それは、どなたの心の中にも広がっていく世界です。すべての意識が共有できる世界です。温もり、優しさ、喜び、広がり。一つの世界に一つ。

54 自分の中に心の針を向け、自分の中の田池留吉、つまり本当の自分を感じる瞑想を重ねることによって、自分の計画、自分の予定してきたことを崩すわけには

いけないことが、はっきりと響いてきます。

その計画とは、今世の肉を通して真実を自分に伝える、自分の中にあつた真実に触れ、その真実の世界、愛の自分を、今世を境にせずと自分の中に流していくということです。

自分がそういう計画の中にあることを感じていくんです。

「それが自分の計画でした。その計画のもとに、こうして、私は肉を持っています。自分に愛を流すために、自分が愛だつたことを心で知る計画を立てて、私は今世、肉を持つてきました。」

そういうことが、心ではっきりと感じられる瞑想を継続していきましょう。そうすれば、瞑想をすることがどれだけ喜びであるか、瞑想でしか本当のことは分からないことが、手に取るように分かってきます。

だから、自然に、正しい瞑想をするにはどうしていけばいいのか、そこにポイントを置いた生活になってくるのです。

59 自分がするべきことは何なのか。本当にするべきことは何なのか。そして、自

分が本当にしたかったことはいったい何なのか。

学びに出会い、少なくとも正しい瞑想を継続してきた方達は、すでに自分の心の中でその答えと出会っているはずです。

あとは、その答えを素直に受けて、それに沿って存在していけばいいだけ。どの程度受けて、沿っていくか。それは正しい瞑想をして自分の心に響いてくる度合いによって違ってきます。

一方、今現在、学びに触れていない方達も、その答えはもちろん、自分の中にあるんだけれども、それに出会っていないだけです。出会っていないという意味で、不幸せな人生です。

しかし、今はそれでも、ある時期、条件が整ってくれば、意識の流れに乗っていきます。それがこれから二五〇年、三〇〇年に至る時間の出来事です。激動の時間、激震の時間。その時間を経て二五〇年後に結集してくる意識達があります。

出会いを待っています。心の底から歓喜の渦が湧き起こってくる体験を共有できる、そんな瞬間を待っています。そして、意識はともに次元を超えていきます。

60 愛のエネルギーの注入。一瞬にしてエネルギーが働いていく様を肉で確認したならば、あと残すのは瞑想のみ。

どンドン、どンドン正しい瞑想を心掛け、どンドン、どンドン意識と意識の交信の喜びを感じましょう。

瞑想だけです。正しい瞑想だけです。

肉を持つているとき、持っていないとき、その境目はなく、ただただ思える喜び、通じ合える喜びの中に存在しながら、次元を超えて、さらに自分の進化を進めていく計画の中に、すべての意識達がいざなわれていることを知っていきましょう。

瞑想、瞑想、瞑想のみ。生きても瞑想、死んでも瞑想。自分の中の喜びと温もりをただただ広げていく、その厚みを増していく、そんなルートに自分を乗せて

いけることに、ありがとうしか出てきません。

ちっぽけな中で、本当に小さな世界で、苦しみ沈んでいた自分に、ただただありがとうだけです。

心に向けられる喜び、思える喜びの中で、さらなる進化を遂げていくのでしよう。ありがとう。本当にありがとう。

65 「自分の中にすべてがある。自分の中に温もり、優しさ、喜びがある。

心を自分の中に向けていけば、本当の自分が応えてくれる。」

これを自分の中に確信すればいいんです。いいえ、みんな確信できるようになっています。

だから、確信できれば、あとはどンドン自分の中に針を向けていけば、もう自分達はどんなに幸せであるか、どなたの心にも響いてきます。

素直に自分の周りを感じてください。素直になって、自分の心の声を聞いてく

ださい。母の思いを感じてください。

何ということもなかったんです。幸せな自分がそこにいるだけです。ありがとうと言っている自分がそこにいます。私達は、その自分とともに存在していくことを学んできたはずですよ。

だから、すごい学びなんです。学ばせていただいたこと、いただいていることに、感謝、感謝しかないでしょう。嬉しいから瞑想をします。幸せだから瞑想をします。思いを向けることが、本当の喜びであり、本当の優しさなんです。

78 愛のエネルギーが流れ続けていることを、色々なことを試しながら、楽しみながら知っていき、しかし、そこに一本、道をズバツと通さなければなりません。う。

自分の存在意義。なぜそこに存在しているのか。何のために生きているのか。何をしていくべきなのか。

そして、それは頭では絶対に回答は出てきません。しかし、すべては自分の中にあります。それを引き出して、そして吟味して、堪能していく喜びは、正しい瞑想でしか味わえないことを知っていきましょう。

瞑想をする時間は絶対的に必要です。時間だけではありません。肉的に平穏な心と身体が必要です。肉的に切羽詰まった中で、正しい瞑想などできる訳がないというのが現実です。そういう状態で瞑想をするということは、それは殆どと言っていいほど、他力のエネルギーに繋がっていくからです。

欲が根底にある心では、本当の喜びとか温もりとか幸せは、決して分からないということが分らないのではないのでしょうか。

それほど、肉、形を本物とする思いが強いかということ、しっかりと自覚してください。

79 「どのようにして生きていけばいいのか。何を求めて生きていけばいいのか。どうすれば心から幸せだと思えるのか。

本当のことは確かにあるんだけれど、それはいったいどこにあるのか。何が本当のことなのか。」

自分の中の疑問が氷解していく過程をこうして歩ませていただいていることが、私には本当に嬉しいこと、喜ばしいことです。

自分の外に探し求めてきたものはみんな、泡のように一瞬にして消え去っていった数知れない体験があるのに、それでも懲りずに自分の外に求めていってしまう心癖を打破することは、確かに難しいことでした。

しかし、不可能なことではなかった。針の向け先が間違っていることを伝えてもらったから、それを素直に実践していけばいいだけのことでした。

「本当のことは自分の中にある。自分の中に本当の自分がある。それが愛と呼んでいるものなんだ。自分は愛とともに、愛の中にあるんだ。」

心の中に向ける瞑想、中の田池留吉、本当の自分に合わせていく瞑想の時間を重ねながら、長年の疑問に、こういう回答を引き出していった現実を前にして、益々瞑想に磨きがかかります。プラス、プラスに転じていく瞑想の手ごたえを感じています。

81 自分（愛）に帰る道、それを自分の中で知り、その道を一步、一步、歩んでいき、そして、歩みをしっかりとしたものにしていく、その喜び、幸せを、五官を閉じる正しい瞑想で味わっていく、味わい尽くす。

これこそ、肉を持つてここにある喜びだと私は感じています。
だから私は肉でも十二分に幸せなんです。肉の喜びとか幸せ、楽しさの裏に即、空しさを感じていた学びに集う以前の私が嘘みたいです。

難しい教義や理論に触れたことがなく、数学的な、科学的な思考もない私だけど、この世のどこかに本当のことがある、真実があると思いつけてきた自分の中の思

いは正しかったんだと、私は自分に証明しています。

「自分の中にすべての回答がある。だから自分に戻ればいいんだ。その自分とはいったい何なのかということが、自分の中で解明できる時間と巡り合ったことは最高に幸せなことだ。」

正しい瞑想は、私にこの喜びを伝えてくれます。確かな足取りを伝えてくれます。自分の存在意義とか、自分の進むべき方向、羅針盤がしっかりとしている、これほどの喜びはないのではないのでしょうか。

肉に塗れた真つ黒な意識の世界の転換を、正しい瞑想が可能にしてくれるんです。

87 本当の自分の世界は限りがなく、愛へ帰る道は永遠に続いていく喜びの道です。そのルートに自分を乗せたということは、それは、それはすごいことです。私はそれを本当に喜んでいきます。

本当に自分の進んでいく道、存在していく道を確認できる今という時はすごい時なんだと、瞑想の中で響いてきます。

喜びは確信を深め、確信は喜びを大きくする。宇宙に向ける瞑想を重ねていくことによって、さらにそれを加速させるような感じですよ。

宇宙に向けたときに感じる波動、エネルギーが、確実に意識の世界で仕事をします。意識の世界の仕事は、すなわち形となって現象化していき、さらに意識の世界の揺さぶりを、目覚めを引き起こしていきます。

目に見えない意識の世界の働きは、確実に愛に向かって突き進んでいくのです。「ともに進んでいきましょう」とメッセージがきます。

91 本当のことを知るために、本当のことを自分に伝えるために生まれてきたんだと、自分の心で本当に知ったとき、何もかもうまく仕組みできたと思わざるを得ないです。

仕組む、それは自分の計画ですが、自分の中はみんな知っていた、知ってこうして肉を持ち、肉の環境を設定、整え、自分をいざなってきたんだと実感です。

そのエネルギーはいつたいいのだらうかと思うとき、ああ、本当の自分が自分をいざなってきたんだと心で思えます。だから瞑想は喜び。瞑想をすればただただ幸せと喜びを感じます。

どんなに苦しい中であつたとしても、こうして自分に本当のことを伝えることができる今がある、こんな時を迎えられる今が私には何ともありがたいです。肉から見る世界、意識から見る世界、全く違っていた。本当にすごいとしか言いようがありません。そういうすごい心の体験を重ねられるということが、喜び、幸せです。それは、目を閉じて、心を向け合わせていくしかないんです。肉を持たせてもらったから、学ぶことができました。だから、ありがとうございます。

92 誰しも耳に心地良い言葉を聞きたいし、優しい態度で接してもらいたいでしょう。

あえて、厳しいことを言われたり、冷たい態度を受けたりすることを望む方はいないと思います。

耳に心地良い言葉、優しい態度は、確かに励まされ、癒され、元気づけられていくかもしれません。しかし、それは一時的なこと、そして、案外そういうことは、自分の心を見るチャンスを摘み取ってしまうことになるかもしれません。

だから、肉的なことで一喜一憂しないで、いつも自分の中に心の針を向ける習慣を身につけることに専念しましょう。

自分と自分の対話。そこから引き出されたものを、さらに自分の糧にして、自分の歩を進めていくようにしてください。

そんな時間と空間がそれぞれに用意されているのだから、それがどんな状態を呈したとしても、それは、みんなプラスなんです。形の上からはマイナスであつ

ても、やがてそれは必ずプラスに変わっていきます。

プラスの要因しかないんですから。マイナスは必ずプラスに変わっていきます。それが私達の本質、愛というものではないでしょうか。

100 正しい瞑想は、自分の中に喜びと温もりをしっかりと広げていけるたった一つの方法です。

正しい瞑想をすることが、正しい瞑想ができることが、たった一つ、自分を救いゆく方法なんです。

このことは、正しい瞑想をしていけば、自ずと分かることです。これしかないことが分かります。だから、さらに正しい瞑想ができるように、自分をいざなっていくいきます。

愛のエネルギーです。愛のエネルギーが自分をいざなっていくんです。その様を瞑想の中で感じていけば、どれほど今という時がありがたい時なのか、そして、

どんなに自分は恵まれた存在であるのかが、心に響いてきて、その思いは、さらに瞑想に拍車をかけていきます。いい方向に、いい方向に、自然に循環していくんです。

そうすれば、自分の外に何かを求めることは、全く違っていた、間違っていたことなど、はつきりと分かってきます。外に求める心がどんなに愚劣なものなのか、肉、形を通して知っていきます。

104 私は、来る日も、来る日も瞑想を続けています。

自分に誠実に、自分に素直に、そして自分の肉体細胞の思いを感じながら、私は、日々、瞑想を重ねています。

きつとあなたもそうでしょう。心に響いてくる温もり、喜び、嬉しさ、幸せ。繰り返し、何度も体験されていることでしょう。

繰り返し体験できるから、確かにここにあると確信を深めていけるはずです。

心の体験だから、何も要らない。ただ思うだけ。思えば通じることを確認。そしてまた確認。

そういう体験を積み重ねながら、肉の仕事もこなしています。もちろんその時、瞬時に動く心、流すエネルギーを確認します。

ただ、私は、自分の中の喜びとか、温もり、広がり、展望、そういったものが現実の世界としてあると知っているから、確認作業が喜びなんです。

一日の終わりに、必ず瞑想をします。

私の瞑想は、田池留吉、アルバートを思い、宇宙を思う瞑想です。

異語で自然と語っています。異語で語り合うことが自然で、そうする中で、響き合う喜びとか、伝え合っている喜びとか、嬉しさとか、どんどん広がっていきます。

凄まじいエネルギーは、みんな温もりに帰ったかっただと確認しています。宇宙を思う瞑想で、私は温かい、安らかな思いを広げて、そのまま就寝します。

106

何度でも、繰り返し感じ広げていける温もりの世界、喜びの世界。

これは大切なことだと思います。

何度でも、そして繰り返し感じ広げていけること。

瞑想をして苦しみが募るとか、不安、恐怖、イライラするとか、学びに疑念、疑惑が湧く、焦り、諦め等々の後ろ向きな暗い思いが出てくるとか、それは違う方向に心の針が向いている証です。

瞑想は喜びなんです。喜びだけなんです。

瞑想をすれば、自分がどんな思いで今ここに存在しているか、たくさん母の意識を感じて、ただただ、ただただありがとうだけなんです。

もちろん、肉の環境など自ずと整っていきます。何の不足も不満もないとはつきりと分かります。

喜びの瞑想をしましょう。嬉しい、ありがとう、幸せ、そんな思いがどんどん広がっていく瞑想をしましょう。

幸せとはこういうものなのか、温もりとはこういうものなのか、それは自分で自分の心で体験して確かめていく以外にないのです。

それが本当の幸せであり、喜びであり、温もりであるならば、そこから後戻りすることは絶対にないし、転覆することも絶対にありません。

107 日々、淡々と一定のリズムの中で暮らす。そして、その中で、自分と自分の中の対話を楽しみ、自分が今、ここにこうして肉を持っている現実を、ただ素直に喜び、それを自分の糧として、これからの自分の時間に思いを馳せていく、そういう道筋を、確かな自分の道筋を自分の中で確認できること、これほど幸せなことはないでしょう。

意識の世界は目に見えません。エネルギーの存在、自分というものの存在、自分とはいったいどういうもので、どのように存在していくのか、そんなことは、自分の心で感じて、感じたものを信じていく以外にないのではないのでしょうか。

話を聞いて分かる、納得するという話の内容でもないけれど、どうすれば、どうしていけば、どうなることが、本当に自分が望んでいることなのかは、みんな自分が知っているはずで。

自分の動く心を知って、自分が瞬時に流すエネルギーを感じて、それでも、自分の中が何を求めているのか、徹底的に自分に答えを引き出していくことしかないのです。

どんな思いで今世、生まれてきたのか、来世生まれてくるのか、瞑想の中で何度も、何度も確認しています。その思いが私を引導している、私はそのように感じています。だから、私は私に忠実に存在していくだけです。

その結果、喜びにいざなっていくことを私の心は知っています。

110 どんなことにも言えますが、ポイント、ピントがずれて、外れていては、徒勞に終わってしまいます。

ここでは何がポイントなのか。

絶対にずれてはいけない、外してはいけない点が、ポイントと呼ばれるものです。どんなことも、ポイントがずれていては、そして、ポイント、要所を外しては、効果は得られません。

枝葉的なところは適当にあしらって、要所、要所をうまく締めていくような効果的な学び方をしていきましょう。効果的な学び方とは、喜びに繋がっていくような学び方です。

学びの要所をきちんと押さえたいけば、自ずと喜びにいなわれていくんです。学びに触れて、いつまでも苦しみ喘いでいるなんて、それはおかしいんです。喜んでいる状態が自然なんです。特別でも何でもありません。

温もりを感じられる、幸せを感じる、よかった、ありがとうが、心からどんどん湧き起こってくる、自然な姿です。

瞑想が楽しくなる、瞑想が喜び、瞑想はただただ喜び、それが自然です。

世相は暗いけれど、自分の中は楽しく、明るくしていきましょう。生き方、存在の仕方の根本の変革に取り組んでいきましょう。

112 何で生まれてきたのか。何をするために生まれてきたのか。

人間の本質が意識、エネルギーであるならば、なぜ肉体という形を持っているのか。

そもそも、意識、エネルギーが形を持つとはどういうことなのだろうか。

もちろん、頭を巡らしても答えは出てきません。答えは、正しい瞑想を積み重ねて、それぞれの心から引き出していきます。自分の心から引き出していくことが、心で分かるということです。

そういうことをしていくことが、本当に自分の人生を生きるということではないでしょうか。

本当の意味で生きて、そして死んでいった人生をただの一度も送ってこなかった

たことを、今の肉を通して知りました。

あなたはどうぞでしょうか。

私は、だから、学びの中で、今世こそという思いで生まれてきたことを感じ知っていきました。その思いに忠実に、私は今世もそして二五〇年後の私も従っていただけです。

あなたはどうぞでしょうか。

そういう思いに賛同される方達とともに、これからの歩みを進めていけたらいいなあと思っています。

115 たつぷりと時間があるようで、時の経つのは速いです。

二〇一四年も三カ月、四分の一終わりました。

一〇年、二〇年、あつという間です。

その時、その時の現象に一喜一憂して、それで終わりという人生はどうでしょう。

うか。

しっかりとした手ごたえを確認して、今世の時間を終えていきましょう。

そして、必ず二五〇年後の出会いを果たしませんか。

さらなる進化を目指して、そこに標準を合わせて、今を生きていきませんか。

どのように生きていくか、どのように存在していくか、どこに自分の価値を置いていくか等々、何度も、何度も自分に問いかけ、そして、瞑想を繰り返し、本当に自分に納得のいくようになさってください。

誰が決定するのでもありません。どんなことも自分が納得すれば、その結果もまた潔く受け止めていけるのではないのでしょうか。そこから自分の歩みがまた一歩、確実に進んでいくと思います。確かな自分の足取りを確認できることが、喜びだと私は思っています。

120 自分の中からどんどん湧いてくる温もりと喜び。そういう感覚を瞑想の中で確認することによって、どこに心を向けていけばいいのかが具体的に分かると思うんです。

ああ、自分の中に、こんな優しさがある、温もりがあると具体的に分かってくれば、それを思っていればいいということになってきませんか。

どこに心を向けていけばいいのか。本当に具体的に自分の心で実感していない限り、死ねば心は宙ぶらりんのまま、怒涛のように押し寄せてくる中に沈み込んでいくのが現実ではないでしょうか。

だからこそ、今、肉がある間に、ただひたすら心を向ける、心を向けて、自分の中に湧いて出てくる温もりと優しさ、喜びを知っていかなければならないでしょう。

自分の現状をしっかりと把握して、そこから心を背けず直視して、肉の時間を終えることが、自分にとって唯一の優しさだと思います。

自分を救っていきましょう。本当に救っていきましょう。全力で救っていきましょう。

そのためだけに肉という形を持ってきました。肉を使って肉を生かすのではなくて、肉を使って自分を生かしていきましょう。

121 生きる喜びとは何ですか。正しい瞑想ができることです。

生きる目的とは何ですか。正しい瞑想の完成度を高めることです。

正しい瞑想を知らない人、できない人は、生きる目的も生きる喜びも知らないということですか。そうです。

それは闇黒の世界ですか。そうです。

今朝の半身浴で浮かんできたものです。

私はこうして、その日一日をスタートします。半身浴のときに伝わってきたものを、引き続きのストレッチ体操のときにふっと思ってみる、朝の細切れの瞑想

です。だけど、この細切れの瞑想は案外いいものです。

瞑想。時間を作って、時間をかけてゆったりと集中する瞑想はもちろん大事だけれど、絶えず、いつも心を向けていることが習慣化しているかどうかが一番大切なことではないでしょうか。

私の日々の楽しみみに、昼休みの休憩のとき、散歩しながら、買い物しながら、ふっと思ふということがあります。

桜はもうそろそろ終わりだけれど、つつじ、そして新緑の季節を楽しみながら、五月のセミナー、楽しみにしています。喜んで、喜んで一日、一日を過ごしていきたいでしょう。

どんどん、どんどん瞑想をしてください。どんどん、どんどん、お母さんを思ってください。優しい温もりの中にあつたことを瞑想の中で感じていってください。

128

瞑想で始まって瞑想で終わると言ってもいいほど、瞑想、瞑想、瞑想だけです。正しい瞑想だけです。正しい瞑想ができるように自分を仕向けていくことが、今、肉を持つているあなたの仕事です。

それ以外は、適当に、程々に、生活を楽しく営んでいけばいいだけです。

力を入れて、エネルギーを注いで、肉体細胞を痛め付けてまで、肉の仕事をする必要はないでしょう。

巷では、困った時の神頼み、溺れる者は藁にも縋るといったことが堂々とまかり通っています。殆どの方は、いつまでも、どこまでも、外に、外に求めていくだけです。

自分の中へ思いを向けていくことを学んだことは、それは、それはすごいことだと思います。

自分というもの、自分という存在を、正しく認識していくための今なんだと分かれば、こんな幸せはなかったと痛感するでしょう。

日々、刻々と世界のあちらこちらで、様々な事態が起こっています。そこに渦巻く愛と相反するエネルギーが仕事をしています。

愛へ帰ろうという流れの中にあることを知っていくには、まだまだ、まだまだ、時間がかかるでしょうが、確実にエネルギーは仕事をしていることを、日々心に感じながら、自分の中へ、中へ思いを向ける瞑想の時間を大切にしていこうと思います。

137 新緑が目に見え鮮やかな季節。まばゆいほどの陽の光と緑。そして心地良い風。心も自然に和みます。

今日も一日元気に爽やかに肉の仕事をこなしていき、そして、何よりも瞑想を楽しんでいきましょう。

瞑想を楽しんでいける人生。心と心、意識と意識が響き合う時間、空間を広げていきましょう。そんな時間と空間を持てる喜びを堪能していきましょう。

瞑想の楽しみ、素晴らしさを味わっていけば、心を外に向けて感じる喜びや楽しみの類などは、程々にあればいいとなってきます。また、瞑想の楽しみ、素晴らしさを味わっているからこそ、肉の喜び、楽しみも本当の意味で喜びとなり楽しみとなっていくでしょう。

心を向けて合わせて感じる世界は、本当に何にも代えられないものです。そんな世界が自分の中にあつたということが、本当にすごいことでした。

初めに意識ありき。愛のエネルギーしかなかった。

このことを、しっかりと自分の心で味わって、これからも時間を通過していうと、ただそう思う朝の瞑想でした。

139 自分の中の田池留吉（＝本当の自分）とともに生きていくことが、どんなに喜びであるのか、感じてきましたでしょうか。

そうして淡々と日々生きていく喜び、幸せに巡り合っていますでしょうか。

思いを向ける大切さはどうですか。思える喜び、思う幸せはどんな程度でしょうか。

思うことが仕事をしていく、宇宙に仕事をしていくことが実感として、瞑想の中で感じられますか。

私は、心を向けて合わせていけば感じる世界があります。確かな世界です。私はその世界に生きていると確認する日々を送っています。だから、思えば嬉しいんです。思えば幸せだと感じます。思えることが幸せなんです。

深く、深く瞑想をすることを切に望みますという田池留吉からのメッセージも受け、だから、私はただひたすらに、どんな時も、いつでも、どこでも心を向けて合わせていくだけなんです。

そうすることが、そうすることだけが、自分をさらに真実の方向にいざなっていくことは明々白々です。

正しい瞑想ができる。心の針を向けて合わせていく。その精度をより一層高めていくことだけを念頭に、これからも学んでいきます。

141 愛へ帰る我が道を、ただひたすらに真摯に淡々とそして、喜んで歩いていく、それはすべての意識達に用意されていることです。

学びに集っている、いない、そして、肉を持つている、いない、関係はありません。本当に関係がないことが、瞑想をして心を向けていけば感じられます。すべての存在に用意されているその道。目には見えない、しかし、意識がキャッチできる道。意識と意識が響き合い、通じ合う喜びを感じていけば、心からどんどん噴き上がってくるのは、ただ喜びだけです。

そして、それだけに、目に見え耳に聞こえるこの空間は、本当にいったい何だろうかと思えます。しかし、意識と意識が響き合い、通じ合う世界を心で感じるものがなければ、目や耳を通して実感している世界をやはり重視していくでしょう。どれだけ影だと叩き込まれても、現実、実感として、肉、形の世界に軍配が

上がるのではないでしょうか。意識を信じ切る難しさです。

しかし、私は、自分の心で感じてしまったんだから、もうそういうことは言っていないかもしれません。どれだけ切望しどれだけ待ち望んできた今であるか、自分の心で知ってしまいました。

肉を持ち、この道を通つ直ぐに突き進んでいく厳しさ、難しさもさることながら、その喜びは例えようもないものです。だから心を向けていくだけです。思いを馳せていくだけです。正しく思う、それだけでした。

142 どんなに目に見えない世界を求めようとも、科学的な見地からどんなに真理を追究しようとも、またどんなに厳しく自分を律し、精神修養を重ねても、過去の歴史の中で真実を解き明かした人はいなかった。自分の中の愛に目覚めた人などいなかった。

それが、今、科学者、宗教家等々と自他ともに認める人達の思いを聞くことによつて、まさに「ためしてガッテン」だということではないでしょうか。

学びについて、話を聞いて分かる内容のものではありません。従つて、頭で納得していても、心が納得しているとは言えません。

要は、自分で色々と試みて自分で体験して、そして最後は瞑想です。

正しい瞑想を通して、さらに自分の体験を確認していくことです。

151 本当の喜びと幸せが自分の中で広がっていけば、どこにいても何をしても、思えば嬉しいのです。思うだけで嬉しいんです。

何が、何で、そんなことはどうだつていいんです。自分の中はみんな知っているんだから、それに出会っていけば、自ずとそうなることが実感できます。もともと幸せだった自分を思い出し、復活させていけばよかったですただけだったことが、本当に心で納得できます。

そうなつてくれば、あとは、日々、自分の日常の中で、無理せず自分のペース

でゆったりと思いを向けていく喜びだけが待っているだけです。そうしていくことが、自分をさらに喜びへ幸せへいざなっていくんです。

ああ本当に幸せな人生だったと、心から、本当に心から湧いて出てくるような時間をできる限り、たくさん、たくさん持っていきたいと思います。

何も難しいことはありませんでした。本当に幸せは、そこらへんにゴロゴロと転がっていました。幸せを幸せだと思えないようにしてきただけのことでした。

瞑想をしましょう。正しい瞑想をしましょう。そして幸せな自分、喜びの自分、これからのこと、色々、色々、心で感じ、心で味わってください。

153 正しい瞑想が自分を正しい方向にいざなっているのは、実感していますが、もちろん、それには肉も元気で思いも前向き、つまり体力、気力の充実は欠かせません。

だから、心の針を向ける合わせることを中心棒に、肉を健やかに維持するために、色々な道具等を活用しています。水素水と円盤とたまごは、生活に無理なく溶け込んでいます。

水素水は二年前から飲んでいますが、それは家で作って飲むということから、一年を通して、お水をきちんと一定量飲むという習慣がつかえました。水素の濃度云々のことよりも、そういう習慣がついたことが、身体に良いというふうに私は感じています。

要は生活のリズムを崩すことなく、それらの道具等を活用して、健やかにただひとつの仕事、意識の流れをスムーズに自分の中で進めていくことに専念することに尽きます。

それには瞑想しかありません。たとえば、円盤の活用は様々にあると思いますが、またそれに伴う体験も多々あると思いますが、やはり一番は瞑想に活用していくことです。

正しい瞑想に自分をいざなっていくように活用していくことによって、色々な

自分の周りにある道具達も喜んでいるとあなたは感じられるでしょうか。そういうことが信じられるでしょうか。ここもまた学びのポイントだと思えます。

162 瞑想が大切だということは、学びをしていけば、どなたにも分かってくる。では、瞑想は喜びだ、瞑想は楽しい、瞑想だけだということについてはどうでしょうか。

そこには欲も得もないんです。ただ瞑想をする。心の針を向けて合わせていくことに、喜びを感じそれがすべてだと実感する。

思うこと、思えることの喜び、素晴らしさを心で味わっていけば、本当に何も必要としないことを実感します。必要なものはすでに自分の中にあったことを実感します。そして、もちろん肉体的なことは、整い過ぎるくらいに整っていることも実感します。

実感、実感と言葉を重ねましたが、そうです、みんな自分の中で本当にそうだと思います。と納得、納得できることなんです。

今世、学びに出会った人、本当にその出会いを無駄にしないでください。自分のために生きてください。本当に自分のために生きてください。

163 外に向いてきた心を、自分の中に向けていくことは、簡単なようで難しいと思います。常時ともなればなおさらです。

何かあったとき、たとえば身体のどこかが不具合になったとか、そういう時には、ああこれは肉体細胞からのサインかという程度のことならば、少し学びをやれば誰でも分かります。

本当は、そういうところから学びを出発させるのではなくて、何もなくても、いいえ何もないときに絶好の学ぶときなのではないかと私は思います。

穏やかに毎日が流れている中において、瞑想をする時間を確保していき、どんな瞑想をする喜びと幸せを広げていきましょう。

そういう瞑想ができる肉的环境が整っていますか。長く学んでこられた方どうですか。今、あなたは十分に瞑想を楽しめる状態でしょうか。自分の残された肉の時間、大切にしていきましょう。

164 死ぬまで元気で瞑想三昧。ただひたすら前進あるのみ。その手ごたえはずっしり心の中に。

今世の肉の成果を来世の肉は引き継ぎます。意識の世界のバトンタッチを着々としながら、宇宙とともに次元を超えていく存在だと確認、そして確信を深める瞑想を継続しています。

瞑想はただただ喜びです。思いを向ければ喜びです。確認、確信、そしてただただありがとうだけ。

神、仏の世界など取るに足らないちっぽけな世界。いいえ、そんなものは初めから無かったです。

166 「あなたは愛です。」

このメッセージほどすごいものではありません。

この波動に出会うために今がある、あったんだと、その出会いを思うだけで、私の中にありがとうが響いてきます。

朝起きて、今の季節ならば汗をかくほどに元気に身体を動かし、愛の円盤を沈めたお風呂で半身浴。それからストレッチ体操と朝ごはん。

一日のスタートはとても大事。生活のリズムはここから始まる。身体も心も元気でないと、予定のコースを全うできないことを瞑想の中で感じます。今世には今世の、来世には来世の予定、計画があるから、私は、ただひたすらに意識の流れの中で自分を感じていくだけです。

「あなたは愛です。」

一日の中で、きちんと瞑想をする時間を設けて宇宙、愛を思う瞑想。

そして、枕元の愛の円盤の愛の赤文字を感じながら、たまごで足裏をマッサージ

ジしてから就寝です。

169 何をするために生まれてきたのか。何かをしなければならなかったんです。その何かが全部、全く全部違っていました。そもそも、生まれてきて死んでいくまでが人生だとしてきたことが間違いでした。

何かをしなければならなかった。その何かを知りたくて、だけど結局分からずに、世の中という流れに流され、染まり、小さな幸せと喜びに満足せざるを得ない、あるいは失意のうちに幕を閉じていくか、そんなことばかりを繰り返してきたように思います。

神とか仏とか宇宙のパワーとか、そんなもので幸せと喜びを手中に収めることができるかと信じてきた己の愚かさ、ようやく今世の肉を通して出会え、自分を知らずにきた愚かさ、懺悔しかありませんでした。

だから、「あなたは愛です。」というメッセージほど、すごいものはないです。

そのメッセージを心で受け、波動を感じ、波動で応えていく瞑想の時間を持つ、持てるほどすごいものはないです。

死ぬまで元気で瞑想三昧。何かをしなければならなかった。その何かを心で知って、豊かな、本当に心からありがとうと思える時間を、自分の中に広げていきませんか。田池留吉の意識が三次元にやってきたから、それが可能となりました。私はそれを心で知り得ました。だから道は真つ直ぐです。

170 瞑想をする喜びを本当に心に感じてください。

瞑想をして心に感じられる、心に響いてくるものは、ただただ、ただただ温もりと喜びだけなんです。それが愛です。宇宙です。波動の世界です。

瞑想をしていけば、どなたの心にも喜びと温もりが響いてきます。本当に響いてくるんです。響いてこないのは、勉強の方法が間違っているからです。感じる心、響いてくる心をみんな持っています。その自分の心に感じ、響いてきたものから、

どんどん自分を変えていけばいいんです。自分の基盤を変えていけばいいんです。だから、瞑想だけ、正しい瞑想だけなんです。従って、瞑想をしないと、瞑想ができないと言うならば、セミナー会場にやっても仕方がないと思います。

何も感じられない、何も響いてこない、絶対にそんなことはありません。自分は、みんなのように感じられないと思っっている人も、自分の微かな変化を見逃さないでください。微かな変化を喜んでください。

どんなに敏感であろうが、自分の中の喜びと温もりを信じられなければ、一歩は進めません。一歩前に踏み出すことが肝要です。つまりは意識の転回、意識の変革です。

セミナーに参加すれば、善し悪しに拘わらず、どなたも何かを感じているはず。場違いなところに来てしまったと思う人ならば、一度きりで後は来ないでしょう。

二度、三度と足を運ぶのはなぜでしょうか。一〇年、二〇年学んできたのはな

ぜでしょうか。

愚かな肉に言っただけ聞かせてください。

「自分を大切に。自分に誠実に。」

171 思えば嬉しい。思えば通じる。瞑想の素晴らしさです。瞑想をすること、瞑想ができる喜びを伝えていただきました。

ああ、本当に思う喜び、思える喜び、思うことが、思えることがすべてなんだと実感します。

自分の中から突き上がってくるエネルギーが、どんどん、どんどん、喜び、温もりを伝えてくれる、喜びと温もりが変わっていく様子が感じられる、本当に心の針を向ける、合わせることはすごいことなんだと、日々学んでいます。

ゆったりとして、何も思い煩うこともなく、静かで、身体のどこかに苦痛があるわけでもなし、ただ思う喜び、思える喜びの中に身を漂わせて過ごす時間があ

ることを喜んでいきます。

そんな時間、空間が自分に用意されていることが幸せなんだと思えるなんて、二〇年ほど前の私からは想像もつかないです。

瞑想だけだとか、瞑想はすごいとか、肉、肉で生きてきた私が、こんな言葉を出すなんて、自分自身の変革に驚いています。

180 時間があれば瞑想をしてください。日々の生活の中で、瞑想をする時間をきちんと確保することは、言うまでもなく最も大切なことですが、それ以外にも、時間があれば、瞑想をしてください。

そもそも、瞑想とは構えてするものではありません。時間があれば瞑想をというのは、どんな時も、何かをしながらでも、ふっと心に向けて思う状態であつてくださいということです。

いつも自分の思いの世界にいることを確認してください。それが私達なんです。

その自分をいつも感じ、確認しながら生活をしていけば、どうしていけばいいのか、どうすることが本当なのか、自然と分かってくるでしょう。

182 正しい瞑想を重ね、自分の中の喜びと温もりを、「私は愛です」という思いを、深めてください。

自分の中から湧いて出てくる喜びと温もり、優しさを信じて、信じて、それだけを信じていきましょう。

私達は、真実の波動の世界を学んでいます。学びは言葉で表現できません。正しく伝えることはできません。だから波動を正しく受信できるように、日々、正しい瞑想を重ねてください。

瞑想は喜びです。正しい瞑想を重ね、本当の喜び、本当の幸せ、本当の温もりを心を感じ深めていきましょう。

あなたは、今、内なる田池留吉を思ったとき、心が広がっていきますか。温も

りはどうでしょうか。宇宙を思えばどうですか。アルバートを思えばどうですか。愛と思えばどうでしょうか。

瞑想は喜びです。思う喜び、思える喜びを堪能していきましょう。そして、生まれてきた意味を、本当に心から喜びで知ってください。この時を切望してきたことを、本当に心から知ってください。

192 愛に帰る道をただひたすら真っ直ぐに。

今日も嬉しい瞑想の時間を持ちました。自分の中から伝わってくるメッセージを大切に、指針として、一步、一步、歩みを続けていきます。

涙、異語、優しい母の温もりの中でもともに帰れる喜びだけが伝わってきます。

長い、長い苦しかった転生も、ようやくありがとうの五文字で迎え入れることができた今世の出会いでした。

田池留吉の肉とともに学ばせていただいたセミナーの数々が、走馬灯のように心に浮かんできます。もう少し、ともに肉を持ちながら学ばせていただける喜びに感謝します。

私は嬉しい。二五〇年後も三〇〇年後も、私の中では現実のものとして今伝えてくれます。ともに行きましようという思いに心を合わせてまいります。

200 自分のするべきこと、進んでいく方向をしつかりと見極めたら、あとは、ひたすら真っ直ぐに、粛々として事は遂行されていきます。

それまでは、苦しみ悩み喘いでいく時間は避けられないでしょう。それをそれがクリアしていくことが待たれているだけです。

待たれている、待ってもらっている、そういうことを心で感じてくれば、閉ざされた扉も自ずと開いていきます。そして、扉は閉ざされていたのではなく、閉ざしていただけだったと分かってきます。いいえ、そんな扉など、どこにもなかったと分かってきます。つくづく自分は愚かでしたとなっていくでしょう。

すべてがオープンです。開け放たれて、境目も、区切りもなく、ただただ果てしなく広がっていく温もりと優しさ、喜びの中にあることを、瞑想、つまり心を向けることによって実感していきましょう。

209 瞑想は喜びです。ただただ喜びです。思う喜び、思える喜び、満喫してください。
愛へ帰る、本当の自分に帰る、それしかないんです。それだけをするために、私達は何度も生まれ変わってきました。

目的達成へ総力を上げて取り組んでいますか。過去の人生の焼き直しではなく、目的意識をしっかりと持って、自分の今と向き合しましょう。

夏本番。今日も猛暑。汗を流すときはしっかりと流して、そして暑い時だからこそ、身体をしっかりと休め、元気に前向きに瞑想をしていきましょう。

210 心を見るというこの学びをしっかりと自分の中に叩き込み、自分に忠実に真摯に向き合っていく、それが人生なんだと心で感じている場合は別として、ただ敏感だけで自分の道がしっかりと心にイメージできていない人は、周りから疎外されれば、ますます自分の世界に入り込み、意識の世界はもちろん、社会にも適応できません。だから自分では学んでいるつもりでも、心が広がってこないんです。自分の中の優しさも温もりも信じられないんです。疎外感だけが募り、どこにも自分の居場所が無いと思ってしまうから、ただ自分の狭い中に閉じ籠っていきたくないんです。

この悪い循環は、どこかで断ち切らなければならないでしょう。それは田池留吉の肉がするのでもなく、自分の周りにいる人がするのでもなく、自分がしなければならぬことです。

自分を救うのは自分。本当に学び、本当に正しい瞑想をしていこうとなってくれば、このことは一目瞭然に分かります。これほどの愛のメッセージはありません。

それも分からずに、ただ敏感だけではどうしようもありません。本当に敏感ならば、このメッセージをしっかりと心に刻み、ただただ自分に素直に存在していくことができるでしょう。

219 五訓にもあります。

何を間違えたのか、なぜ間違ったのかと。

喜びとか温もりとかを、繰り返し瞑想の中で確認していけばいくほどに、いつも原点に立ち返れと伝わってきます。

そうしていくことが、さらに自分の歩みを進めていくことなんだと、私は自分に教えてもらっています。

0・1秒、そう瞬間的に思う喜びの中で、自分に伝わり響いてくる波動の世界だけが、私の中の真実でした。心を向ける喜びを深め広げていきます。

肉持つ者、持たぬ者、ともに行こうと思いを向けてまいります。

222 「自分は何を信じてきたのだろうか。何を信じているのだろうか。

惰性で、あるいはその時の勢いで学びをしていないだろうか。」

数え切れない転生の体験がある私達には、絶えず、自分を淡々ときちんと見ていくことが必要不可欠だと思います。

焦らず、弛なほまず、真摯に、決して驕おごらず、ただ真つ直ぐに。中心部分と枝葉的な部分の見極めを心掛けよう。

肉はともすれば枝葉的な部分に應じやすい。それをもって中心部分だとしてしまふ恐れは大いにあります。

瞑想を繰り返し、喜び、温もりの世界を感じ広げる心に、細心の注意を払いなさいというありがたいメッセージ。

決して外せない今世だから、私は私の指示に従います。

226

心に響き、伝わってくる波動の世界を、肉を通して真っ直ぐに伝えなさい。思うことがすべて。思えば通じることを、波動で伝えていくのです。波動はエネルギー。エネルギーは仕事をします。淡々とそして粛々として、ただただ思うことをやってください。私はあなた、あなたは私。私達の一つ。波動で伝えていきます。一つの中にある喜びと幸せを伝えていきます。

236

「あなたは何のために生まれてきたのでしょうか」と私が問いかければ、あなたの意識の世界は即座にどのような答えを返してくるでしょうか。私は学びに集ってこられた人達に、この問いかけをしてきました。なぜ生まれてきたのでしょうか。生まれてきたあなたの目的はなんでしょう。あなたはいつたいどういう存在なのでしょう。あなたは自分が死ぬばどうなるのか、本当に心で分かっていますか。これらの問いかけを私は、学びに集ってこられる方々、おひとり、おひとりの意識の世界にしていまいりました。

波動で応えてくださいと私はメッセージを送らせていただきました。

そして、肉をつかまえ、肉だという思いから自分の心を離していく難しさを感じてまいりました。

当然のことです。自分は肉だという思い、形の世界のことを手放す難しさは、拭い切れないほどびっしりとこびりついてしまっています。その意識を変えていく難しさは並大抵ものではありません。

私は、それも重々承知しながら、それでも、それでも、私はただお伝えするだけですが。

私達は肉ではありません。私達は意識、エネルギー、目に見えない存在です。これが真実だからです。これだけが真実だからです。

だから、これからも伝え続けます。私達は愛です、愛しか存在しない、人生は喜びなんだと、どんなときも、いつも、いつも、伝え続けています。

真実はたった一つです。

私は愛。あなたも愛。その愛に帰ろう。愛のエネルギーの中にひとつです。

246

心を向ける喜びを感じていますか。思う喜びはどうでしょうか。瞑想をする時間をしっかりと確保していきましょう。

あなたの心の中に温もりと喜び、幸せが広がっている今でしょうか。

肉をくれた喜びが心に湧いていますか。今ある喜び、今肉があつて、思える喜び、ここを本当に心で感じてくれば、この学びに繋がり学ばせていただいていること、それがどんなに幸せなことなのか、どんどん心に伝わり響いてくるでしょう。

心が呼んでいるんです。心から呼んでいるんです。呼べる今が幸せだとしみじみ感じていくでしょう。

心を向ける喜び、思う喜び、思える喜びです。正しい瞑想なくして、何も分かりません。田池留吉を思うということはすごいことです。すごいということはどういうことなのか、どんなにすごいのか、もちろん説明はできません。あなたの

心で感じて知っていく以外にないんです。だから、正しい瞑想を心掛けて感じて知っていくてください。それが人生なんです。

248

思いを向ければ、ただただ幸せです。こんな肉の時間を用意してきたこと、本当に幸せだと、皆さん心に感じておられるでしょう。

どうぞ、今世の時間に自分の中で学び感じたものを信じて、信じて、そして自分を繋いでいきましょう。

心から待っていてくれた思いに触れ、その思いをしっかりと心に持って、これからの時間を過ごしていきましょう。

「ともに、ともに帰ろう」ふるさとの出だしです。いつも、いつも優しい思いで、自分を迎えてください。

私達は愛です。私達の本質は愛です。愛である自分の本質に目覚めていくことが人生でした。

258 私の中の愛が仕事をする。その感覚を瞑想の中でさらにしっかりと確認しているのが、私の今のお勉強です。

ただひたすらに、そしてしっかりと田池留吉に心の針を合わせていきます。

そして宇宙を呼びます。心の中に響き伝わってくるエネルギー。心の中から湧いてくる喜び、温もり。

この感覚を、瞑想を重ねていくことにより、自分の中で確認します。

それが私の喜び。

その喜びの中で、今世、心に入れた教祖のほうに思いを向けてみます。

真つ暗な、真つ暗な奥底の意識に、はつきりとしつかりと伝えることができることを確認。

あなたの中の愛に目覚めてください。そう伝えられることが嬉しい。

そして、また私は、田池留吉を思う。心からありがとう、ありがとうの思いが出てきます。

こうして、一日、一日を重ねていけばいいんだと思っています。

259 脱神。脱仏。

お正月に神社に行った。お墓参りをした。仏壇に手を合わせた。高橋信次を心に入れた。南無阿弥陀仏と唱えた。そしてアマテラス。大神神社に伊勢神宮。

たくさん、たくさん間違いを繰り返してきた。だけど、今の私の心の中にあるのは、ありがとう、ありがとう、ありがとう、私は愛に帰ります、私のふるさと、母なる宇宙へ帰ります、この思いだけです。

だから、私は、今こうして、肉体を持っています。田池留吉の意識と出会わせていたできました。学んできました。千載一遇のチャンスだと、千載一遇の出会いだと心で知りました。田池留吉の意識、アルバートの世界、その宇宙、母なる宇宙の波動、心で感じさせていただきました。

どんどん心を向けていく喜びを感じています。私の中で、田池留吉、アルバートの世界は広がってまいります。限りなく広がっていく意識の中で、ともに歩めることを喜んでいられる私があります。

間違い続けてきました。祈り、願い、宇宙を支配し、自分の保身のために、我が一族の保身のために、虫けらの如く殺傷してまいりました。

政治を動かす影の力となり、神の言葉を発してまいりました。すべてがブラックの世界。心を闇に売り渡し、私は、地獄の奥底の底の、底の、奥底に真つ逆さまに落ちていくだけの転生でした。

しかし、私は、懲りずに、何度も、何度も同じ間違いを繰り返し、こうして、今、ひとつの肉体を持たせていただいています。

今世、私は、自分のすべてを懸けてきました。心を田池留吉、アルバート、お母さん、温もりに、しっかりと向けることを拒否してきた私にとって、そのことを遂行していくことは、とても、とても困難なことでした。しかし、私の心の中

からの思いがそれを可能にしました。

今世を外せない。今世は、私にとって、たったひとつの、そして最後のチャンスでした。

今世、私はここを外せば、もう、殆ど再び、自分の本質に出会う、愛へ帰る道へ自分をいざなうことは、殆ど難しい状況でした。その背景を全部抱えて、私は、今世の肉体をいただきました。だからこそ、田池留吉の学びに食らいついてまいりました。

今世は、そういう状況から、二〇年という時間を必要としましたが、ようやく、私の中にも、ようやく自分が愛でした、私はこの道を真つ直ぐに歩いてまいります、その確信が芽生え、その芽生えが育ち、今、自己確立の道を喜び、喜びで歩いていく状況にあります。

私は、心から田池留吉を信じています。アルバートにどれだけ出会いたかったか。アルバートの波動を心の中に広げたかったか。その思いは、私自身、一番よく知っ

ています。だから、田池留吉がアルバートの波動を伝えにきてくれたということを、私はどれだけ喜びで受けていったか。アルバートを待っていた私にとって、田池留吉を信じているかいなか、そういう思いを向けられること自体が、もう愚かなことだと、私は、言い切れません。

私は田池留吉とともに歩いてまいります。田池留吉の世界は、私の世界です。アルバートの世界は、私の中にあります。アルバートの中にあつた私。その私を、どんだん知っていくことが、喜びへ帰る道。愛へ帰る道。

母なる宇宙への思いをしっかりと心に受け止め、私は一歩、一歩着実に歩みを進めています。だから、私は田池留吉、アルバートを思う瞑想をします。宇宙を思う瞑想をします。

瞑想は喜びです。ただただ喜びです。

264 あなたは、今、瞑想をして喜びを感じていますか。田池留吉に心に向けてることが喜びでしょうか。アルバートと呼べることが喜びですか。

私は、ふるさとの歌を歌いながら、私達のふるさと、愛、宇宙を思っています。今、こうして、心に向けながら、この歌を歌うことが、もう私には喜びなんです。

本当に、今世、生まれてきてよかったです。本当にありがとうございます。真実の波動の世界を心を感じさせていただきました。

宇宙に帰りたいかった。どんなに帰れることを待ち侘びてきたか。ようやく帰る目処が付き、あとは、この道をただひたすらに真っ直ぐに突き進むだけです。

私は、喜びで二五〇年後に生まれてきます。その二五〇年後の私からの思いも、今、私は感じさせていただいています。過去の私と未来の私と、今という時に、ともに帰ろうと伝え合っていることが、私には、たまらなく嬉しいことでした。UTAの輪の中で、私は、しっかりと学ばせていただきます。

269 もう本当に、自分はエネルギーなんだ、たくさんの凄まじいエネルギーの塊なんだと、本当に心から知ってください。そして、その凄まじいエネルギーをどんどん、どんどん愛に帰して行ってください。

愛に帰していく喜びを心で味わってください。それが瞑想のすべてです。瞑想は喜び、そうやってくるはずですよ。

私達は、愛を捨てたんです。その私達に喜びを伝えてくれるものは、その愛を捨てた凄まじいエネルギーです。つまり自分自身です。

だから、どんなに凄まじくてもいいんです。凄まじければ、凄まじいほどに、愛に帰っていくときに放つエネルギーは喜びです。温もりです。

273 愛を思い、宇宙を思い、異語で語る瞑想の時間を大切にしていきたいと思います。心がほどけていく喜びと幸せを感じていきましょう。

とわにひとつ、我が友の友、感じていますか。友っていったい何でしょうか。

すでに愛に帰る道筋は、はっきりと示され、具体的にどうしていけばいいのか教えていただきました。それをしっかりと受けていくかどうかは、それぞれに残されています。

275 自分を見失い、自分の心を捨て、苦しみで沈んできたけれど、こうして今という時を自分に用意してきたことが、本当に嬉しいですよ。

愛から出て愛に帰る正しい道に自分をいざなっているんだと、喜びとともに温もりとともに響いてきます。瞑想をして響き伝わってくる思いは、ただただありがとうだけです。優しいですよ。温もりとともにあったことを本当に喜んでいきます。

数々の転生を経て、ようやく今の肉を通して、肉を持つ本当の意味を知り、だから、来世の肉を持つ目的が違ふとなりました。今世を境にして、自分の軌道を変えることができたと、私は瞑想の中で実感しています。

ああ、私はここに戻れるんだ、戻れるんだ、ただもうそれが嬉しくて、闇黒の、

視界ゼロの、意識の世界から脱出することができたんだ、それが私の今世の成果だと自己評価しています。

277 私は、私の勉強として、これまでずっと、一人で瞑想というスタイル一本でやってきましたが、少し前からクボハウスを活用させていただき、私の勉強を試みています。

自分の心を見て、正しい瞑想を重ね、パツ・パツの励行に努め、セミナーに参加して、確認。そして、また自宅での一人瞑想、あるいはクボハウスでの勉強を試みる。しばらくは、これでやっていこうと思っています。

各地域で、あるいは何人かで、それぞれに学びを進められていると思います。どうぞ、それぞれにレベルアップを目指していきましょう。一歩前に進めるようにしていきましょう。

279 心が敏感でどんどん意識を受けていることと、田池留吉に心の針を合わせる度合いは比例しません。

母の温もりを心にしつかりと広げていなくても、意識は受けられます。しかし、果たして、それでああなたの意識の世界は変わっていくのでしょうか。

284 「あなたは自分の中が進化していますか。その手ごたえを実感していますか。」
それぞれの心に問いかけてみてください。

「はい」と即答ですか。私はそうです。

セミナーの回数を重ね、たくさんさんの学びの機会を得てきました。振り返れば、ただただ幸せな時間と空間にいざなわれて幸せですという思いだけです。そして、本当に切望してきたことが現実のものとなっている今、私は喜びで心に向けています。心に向ける、思うことがすべてだということがはつきりと分かります。まだまだ光が届かない闇黒の宇宙はたくさん、たくさんあります。彷徨っている宇

宙がたくさんあります。だから、私は嬉しいんです。思いを向けられることが嬉しいんです。応えてくるからです。喜び、温もりを返してくる、そんな瞑想の間を、私は、可能な限り持つようにはしています。短くても、長くても、思うことに意味があることを心で感じています。

287 心に響く確かなもの。それは温もりと言っています。喜びと言っています。温かい、優しい、広い世界だとも言っています。

お母さん、田池留吉、アルバート、宇宙、愛。言葉は色々と出ますが、心に響いてくるものがあります。波動です。思いを向けると響いてくる波動。

それは安らぎ、癒し、そして力強い呼び掛け。ともにある喜びと幸せをどんどん深めていくように自らを引導しています。

闇黒の宇宙、万歳でした。本当にありがとうございました。狂い続けてきたから今がありました。愛を思える今がありました。愛へ帰る喜びだけを伝えていきます。

290 あなたは学びの成果を出していますか。あなたの過去、未来、今のあなたを通して、どのような思いを伝えてくるでしょうか。

次の転生に繋ぐことについてはどうでしょうか。自分の中に手ごたえを感じているでしょうか。

分からない、分からないと言って自分を誤魔化すことなく、しっかりと愛へ帰る道にあることを確認してください。今世、学びに出会ったこと、本当に活かしてください。自分にとって最大のチャンスだということ、心から知ってください。「私は愛です」と自分に心を向けることができますか。あなたの中にどんな思いが広がっていくでしょうか。

295 瞑想は喜びとなっているでしょうか。心の底から喜びとなっているでしょうか。田池留吉を思うことが喜び、アルバートと呼ぶことが喜び、本当に心の底からそう思えるあなたになっていますか。

宇宙を思うことはどうでしょうか。

田池留吉にただひたすら心を向けていけばいいんです。向けていけるようになるばいいんです。心から、心からアルバートと呼べるようになればいいんです。

そうすれば分かってきます。アルバートと呼べるのがどんなに嬉しくて、どんなに待ち遠しかったか。アルバートの波動を、田池留吉は伝えに来てくれたんです。こんなに嬉しいことはありません。

宇宙を思い、UFOを思い、これからの時間に思いを馳せるとき、そういうことが自分の心にピンピン響いてきます。

だから、ありがとう、ありがとうだけです。こうして今、出会わせていただいていることに、ただただ、ありがとうだけです。

瞑想は喜びです。本当に喜びです。心の底から湧いて出てくる喜びに、温もりに触れてみてください。

313

思うことが愛です。そう、思いを向けることが、それが愛。

思いを向ければ愛が流れる。あなたは今、こういう状態ですか。

愛をどんどん流していきましようとか中から伝わってきます。

そう、思うだけでよかったです。思えば愛が流れる、私はそれを体感しています。

319

もうまもなく、「愛、心のふるさと」の本ができてきます。

すべては波動であり、だから読むというよりも感じていただきたいと思いが、たとえば、本の全部と言いませんが、黙読する代わりに音読を試してみてもいいでしょうか。

声を出して読んでみるといいものです。音を発しているうちに、何か心に響いてくる体験があるかもしれません。そうしたときは、少し目を閉じて瞑想してみてください。

そういうふうはこの本を活用していただければと思います。
あなたのレベルがアップしてくれば、きつといい本だと心で分かっていただけ
ると思います。そういう人達と学びを進めていきたいと思っています。

320 自分が作ってきた凄まじいブラックの宇宙を私は知っています。

しかし、私は自分の中の愛と出会いました。自分の中の本当の私と出会いました。
その波動の世界と出会いました。母の温もりの中にあつた私と出会いました。
だから、どんなに過去、ブラックの中に沈んでいたとしても、もうそれを再燃
させるようにはなりません。それが意識の流れというものでした。

意識の流れは次元移行を告げています。粛々と順調に遂行されていく宇宙の計
画。その計画を覆すようには決してならない。

それが田池留吉、アルバートとの出会いだったんです。その波動と出会ったの
だから、自分が自分の姿を知らずに作ってきた凄まじいエネルギーは、愛である

自分の中へ帰ろうといういざない、そのパワーに瞬間的に吸収されていきます。

それが私の瞑想です。喜び、温もり、ただただ広がっていきます。

323 思う、思う、思うことがどれだけ喜びであるか。すごいと思いました。

思える喜びはすごいです。瞑想は喜びだと、本当にそうです。
今、心に向けられる今、私は本当に幸せです。思いを馳せること、ただただ思
いを馳せれば、心に響き伝わってくる中に存在していることに、ただただ、ただ
ただありがとうしかありません。

自分で計画してきたこととはいえ、すごい時間と空間を用意してきました。喜
びは喜びをいざないます。ひとたび、この温もりと喜び、優しさ、そして、意識
の流れの中にある幸せを確信すれば、いつでも、どこでも、ただ思いを向けるだ
けです。思うだけです。

何も必要としない。すべては自分の中になりました。

その確認を、これからも瞑想のたびに重ねていけるでしょう。それが愛へ帰る着実な歩みとなって、私自身をさらに進化させていくのだらうと思います。

アルバートとともに。本当にアルバートとともに存在している幸せ、喜びだけが伝わってきます。宇宙に彷徨うUFO達の心が響いてきて、本当に嬉しいです。ともに存在していける現実がありました。

331 何が嬉しいって、私は、やっぱり自分の中から、お母さんって、アルバートって叫び出す、このエネルギーがたまらなく嬉しいです。それは心を宇宙に向けたとき、そしてUFO達に思いを向けたとき、はつきりと感じられる喜びです。

自分の中へ帰る喜び、幸せを今の肉を通して学ばせてもらい、そして、心で感じるのがすべてであり、本当の温もり、本当の幸せ、本当の広がりを感じられる心が自分の中にあつたんだと学ばせてもらい、瞑想をすればするほどに、本当に幸せな存在だったことをしみじみ感じています。

「あなたは愛です。そうです。私は愛です。」そう自分の中へ言ってやれる優しさというか、幸せを感じられる今があります。そういう世界が本当に自分の中にあつたんだと感じられる今があります。現実のものとして、私の心に響いてくる、この世界は私のものです。だから、ありがとうしかないんです。

334 イエスや仏陀や、その他この地球上で聖人君子、悟った人と呼ばれてきた人達の思いを感じてきました。親鸞も日蓮も空海も、みんな暗闇の奥底に落ちていた意識。

そんな中で、真実を伝え続けているのは、田池留吉の意識。アルバートの意識。その中で、私は、田池留吉、アルバートとともに、こうして存在している喜びを感じています。

親鸞とか日蓮とか、高僧名僧、偉人、賢人、愛の人、そして、たくさんの方の宗教家、すべては間違っていた。本当に心から、心から自分の姿を知った人はいなかった。

自分の本当の姿を見極めた人はいなかった。とても小さな、ちっぽけな世界に苦しみ喘いでいる。ただただ母の温もりを伝え続けていきます。

思えば通じる世界でした。心の底の、底の、底の、もうひとつ底の、そのまた底の底に、何があるのか。

私の中には、この温もりしかなかった。優しい、優しい母の温もりだけしかなかった。

ああ、ああ、自分を捨て去って、愛を捨て去って、苦しかった、苦しかったこの心の中に、ようやく、ようやく、伝えることができるんです。

だから、私は喜びで存在していきます。田池留吉、アルバートの中で、母の思いを心に感じ広げながら、ただただ宇宙とともに動いていく自分の姿を感じます。私は形がありません。広がる私が存在しています。

これからのとき、肉を持ちながら、肉に染みついてきた思いをしっかりと見つめながら、そして、私は喜びと温もりの世界を、幸せな自分を心にしっかりと抱えながら、進んでまいります。一步、一步、着実に、田池留吉、アルバートを思い、母を思い、この道、ともに愛へ帰る道を、一步、一步、行きます。

335 心を向けていくほどに心で応えてくれます。それが意識の世界、真実の波動の

世界のことでした。

心に響いてくるのは、温もりなんです。優しさなんです。ともにある喜びなんです。

ただ、それが本当にそうなのかということを見極めるのは難しいです。

それは、正しい瞑想を繰り返し自分の中で遂行、実践していく中で、自分で見極めるしかありません。

しかし、本当は自分の心が、自分がみんな知っています。本当の温もり、本当の喜び、本当の幸せを心に感じ広げているか、自分は本当にたったひとつの愛に帰る道を進んでいるのか、自分の心はみんな知っています。

田池留吉を思う信がどの程度なのか、まだまだどす黒いエネルギーが鎮座しているのか、しっかりと自分を見極めるために、正しい瞑想を心掛けてください。

田池留吉と思えば、無条件に……です。無条件です。

340 自分に目覚めるために、愛である自分に目覚めるために、こうして何度も、何度も、産んでいただいたんです。こうして肉体という形を持つことが幸せだったんです。

そして、今、宇宙を思える、宇宙を呼べる、自分の中でもともに帰れることを確かめ合える、こんな幸せな時を迎えています。

本当に思えば嬉しいです。ありがたいです。愛されて、愛されて、愛され続けてきた私達だったと心の中から湧いて出てくる喜び、安らぎ。

温かい優しい波動を感じながら生きていく喜びと幸せは、決して消え去るものではありません。また小さくなるものでもないし、薄れていくものでもありません。

大きく、大きく広がり、そして厚みを増していきます。

身も心もゆったりとして瞑想をし、また瞬間、瞬間、いつも田池留吉を思う、愛と思う、そんな時間、空間の中に肉があると感じられることが幸せなんです。

クボハウスセミナー、檀原セミナー、有馬セミナー、池田セミナー、もちろん自宅学習を積んで、UTAの輪の中で、自己確立の道を進めてまいりましょう。

342 三〇〇年に向けての土台作り。基礎固め。私自身は今世の肉を持って学ぶ時間をそのように心得ています。

そして、この土台作り、基礎固めが何よりも、何よりも重大だという認識のもとに、これからの時間も学んでいくという思いでいます。

心を向けて確かに響き伝わってくる波動の中で、盤石の土台であるかをいつも確認しながら歩みを進めていけばいいことを知っています。

影に踊らされず、影に振り回されず、しっかりと自分の中にある温もりと喜び、

優しさ、広がりだけを感じて、いつもそこに戻ってあげたいことも、確認して
います。瞑想の中で、そういうことを確認していれば、自分の予定通り、無事、
今世の学習を終了することができます。と、私の中から伝わってきます。

343 昨日、クボハウスでセミナーがありました。遠方から来られた方のことを考え
ると、こんな近距離で学ばせていただけのことに感謝でした。特に、UFO達に、
そして宇宙に思いを向ける瞑想では、本当に今まさに、肉を持っている私達と
もに、田池留吉の世界、愛のエネルギーの中へ帰れるんだという喜び、喜びの思
いを心に受け、本当に嬉しい時間と空間でした。

また、私は、そのセミナーの前に、「愛、心のふるさと」の音読の作業を終えま
したが、これもまた私には嬉しい作業でした。あのスペースは落ち着けて、気持
ちが集中できる場所であり、私個人としては、この音読の作業、なかなかいいな
あという感想を持っています。

こうして、二〇一四年も過ぎ去り、新しい年を迎えます。喜んで、喜んで、愛
へ帰る、自分達のふるさとを目指して一歩を進めていきましょう。

ただひたすら、田池留吉を思って、喜びと温もりの世界をただただ広げてまい
りましょう。

347 ともに瞑想をということで、去年の夏頃から勉強の時間を持たせていただい
ています。みんな一緒に瞑想をする時間を持ち、時には、名指しをして、その人達
が何か自分の心で感じていただければということで、もちろん、私自身の勉強で
もあり、こうしてあげたい、ああしてあげたいという感覚を自分の中でつか
むためにも、こういった学びの機会を活用しています。

学びの基本は自分と自分の心の対話です。自分の心の針を田池留吉、愛に向けて、
宇宙の波動を感じていく、それは一人でできることです。死ねば一人なのだから、
どこまでも、ただ自分の世界があるだけだから、その世界が、いかに田池留吉の

世界と合っているか、そこから流れる波動を、どの程度キャッチできるか、そういうことを自分の心で確かめていくことがすべてなんです。

また、学びの基本は母の温もりです。どんなに凄まじいエネルギーをその肉体を通して感じたとしても、そのエネルギーをどうするのか、いったい何を伝えていくのか、本当に自分が愛だということを伝えることができるのか、ただそれに尽きるのです。

最終的には、UFO、宇宙に向けての瞑想に、さらに、もっと反応していただきたいというのが私の思いです。宇宙に思いを向けて、本当に心から喜びを分かち合いたい、率直な感想です。

テーマ 「異語」

118 特に、宇宙に思いを向けていけば、異語がどんどん出てきます。異語がこんなにも優しくて温かくて、ただただ、ただただ嬉しい波動の世界だったんだと、今更ながら、私は感じています。

異語で通じ合える喜び、異語で語り合い、異語でともにあることを確認し合える今があることが、何とも言えずに嬉しいです。

異語って大事なんだと私自身は思っています。異語でどんどん思いを語る、エネルギーを確認できることは喜びです。

大事なこと、必要なことは、異語で通じ合っているんだと思います。

異語は波動。異語は意味不明。しかし、意識の世界ではきちんと交信し合っているんだ、だからこそ、異語を語る時、喜びを感じるんだと思います。

私は日本人だから、チャネリングと言えば、日本語に変換していますが、本当のところ、異語で語るほうが、そのままストレートに伝わっていくように思います。とにかく、異語はすごいと私は思います。

田池留吉の異語は録音されたものがたくさんありますが、ふるさとを異語で奏でる、トントントン、ツーツツ、トンツーツツではなく、異語で奏でる、それだけで素晴らしい瞑想ができること間違いないです。

138 「私達は本当に幸せです。田池留吉と思えば、心の中に温もりが噴き上がってくる、こんな嬉しい思いを何度も繰り返し体験できるなんて。」と私の中が言っています。

それはそうだと思います。いまだかつて、こんな幸せで嬉しい時間を生きてきたことなどなかったんですから。

過去、肉、形の中で満たされても、それは、本当の自分の心の中には、決して届くべきものではありませんでした。

だから闇黒の中に自らを沈めていく以外になかったとも伝えてきます。

自分の心の中からの思いをしっかりと受け止めていける喜びを、今の肉を通し

て感じさせていたいています。

思いを向けて響き合う心と心。異語をどんどん発し、心を通わせていきましよう。そんなことをして何になると言わないで、まずやってみてください。宇宙は待っているんです。あなたの中で、遠い過去よりずっと待っているんです。必ず伝えてください、伝えますと誓ってきた自分との約束を思い出してください。

159 最初から幸せだったと心で感じている今でしょうか。瞑想は喜びとなっていま

すか。心に向ければ、ありがとう、嬉しい、幸せとなっていますか。宇宙に心に向けていますか。宇宙を呼んでいますか。宇宙の波動を心で受けていますか。宇宙と対話していますか。心の底から突き上がってくる体験はどうでしょうか。

異語を発していますか。どうぞ、宇宙と思い、愛と思い、異語で語ることをやってみてください。異語は波動です。異語は宇宙のリズムです。

異語を発して、自分の中の宇宙が反応していくことを実感してください。宇宙

は生きています。あなたの中で、あなたとともに生きています。そういうことをどんどん感じられる瞑想の時間を持つていきましょう。

瞑想は楽しいです。瞑想は嬉しいです。ともにある喜びが感じられます。そんな瞑想の時間を重ねていけば、自分とは何だろうか、自分の周りの人達やでき事とは何、生きているとはどういうことだろうか、死ぬとはどういうこと等々の問いかかけを自分の中でしっかりと検証しながら、着実に歩める喜びを実感できると思えます。

191 瞑想を生活の中心に据えていますか。正しい瞑想を重ねてください。瞑想がしっかりとできるように、生活パターンを改善してください。

温もりの中で、喜んで、喜んで、自分と対話できる今でしょうか。今、思う喜び、思える喜びを味わってください。異語はどうですか。異語をどんどん発していきましよう。自分の中の宇宙達と喜びで出会ってください。異語は喜びです。喜び

で異語を語り、喜びで波動を感じ合ってください。瞑想の中で、ああ自分はこの喜びと温もりの中に生きているんだと響き合っていきましょう。

田池留吉に心を向ける喜び。どうぞ、存分に味わえるあなたに蘇ってください。

207

ふるさとの替え歌、我ながらいいできだと思えます。

アカペラで一人口ずさんでください。

きつと心に響いてくるものがあると思います。

みんないっしょに、セミナー会場で歌えたらと思います。

そして私の希望。田池先生の異語のふるさと、生でともに聞きたい。

ともに ともに 帰ろう

遙か 彼方 ふるさと

愛は 今も 心に

思い出そう 約束

帰っておいで 我が家に

どんなときも 待ってる

ここが 君の ふるさと

愛へ帰ろ ふるさと

たった ひとつ 真実

やっと やっと 出会った

超えていこう 喜びで

とわに ひとつ 我が友

208

田池留吉を思い、母を思い、そして宇宙を思っていきましょう。喜びは私達です。愛は私達です。ふるさとの替え歌、口ずさんでどうでしたでしょうか。どうぞ、異語でも奏でてみてください。

「愛へ 帰る 喜び

愛を 思う 喜び

心の 中に 喜びが

みんなひとつ この道」

またひとつ、浮かんできました。

喜んで瞑想を続け、愛の水素水の噴射を体験してみたいかがでしょうか。そして愛の指と指の体験をどうぞ。

日々の繰り返し返しの心掛けがあるから、それらの効果が倍増するんです。一過性の喜び、感動ではなく、持続そして進化、成長へ役立ててください。

217

ふるさとの替え歌を半身浴の時に歌うのが日課となっています。

私は、みんなそらんじているので、いい気分です。それから異語で歌って、さらに気分がいいです。

皆さんもどうですか。お風呂なら、みんな上手に歌えますよ。そして、何より身体にいいです。

271

愛へ帰る道、しっかりと自分の心に見えていますか。

母の思いを心にかけていますか。たくさん間違ってきた、狂ってきた自分の思いはどうですか。それらはどんどん、喜びを伝えてきますか。温もりを伝えてきますか。愛へ帰れる喜びを、幸せを伝えてきますか。

全部自分の中の出来事です。

田池留吉を思い、宇宙を思える喜びに湧く今でしょうか。自分の中で、異語で語り合える喜びを味わっていますか。異語を語りながら、優しい温かな中に包ま

れていることが感じられますか。異語で通じ合う世界を感じていきましょう。

テーマ 「他方・パワー」

32 学びは実に簡単です。

今、苦しいならば間違つて存在しているんです。何が、どういうことが苦しいのか、どういうことで悩んでいるのか、それは人それぞれでしょう。そんなことで苦しいと感じるのか、悩みだと思ふのか、心が落ち込んでいくのかと言つても、現実はその人の心が、今の自分の状況、環境、状態、学びの進捗度も含めて、それらをマイナスと感じて、否定的に、小さく受け取つていくならば、それらはみんな自分の力量不足です。自分というものを小さくとらえている、自分をないがしろにして、己の肉だけをそびえ立たせているということになりはしないでしょうか。私はそう思います。

プラス、つまり優しさ、温もり、喜び、愛として受け取れない心の中に埋もれてしまっている状態です。しかも、それらの心の世界は、全部自分が作つてきたものだと、なかなか、なかなか思えないし、思えないから、そこから自分を解き放つことが容易ではありません。

自分を幸せに、喜びに導いてくれる、自分にパワーを授けてくれる他力の道を歩んでいったほうが楽なんです。

そういう意味で、学びは難しいと言えば難しいけれど、私は、やはり学びは簡単だと言えます。

学びは実に簡単です。そして、私達の、本当の私達の意識の世界は、とてもシンプルだと言えます。

157 いわゆる、少人数セミナーはその裾野を広げています。しかし、数に限りがありますので条件があります。

一番の条件は、学びを他力でとらえることなく、本当に自分を変えていこうとする誠実、真面目、真剣さがどの程度かというものでしょう。

そこでレベルアップをさせてほしいというのはお門違いです。

セミナーに参加してレベルを上げるか下げるか、それはそれぞれの問題です。

どんどん自分の中で歩みを進めていくか、一所に留まるか、参加したことで逆にマイナスに働くか、そんなことは本当にそれぞれの問題なんです。

もつと言えば、今世の学びだけではないし、今、肉を持って学んでいる人達だけを対象としたものでもないし、だから、もつと自分の思いを大きく広げながら、今を学ぶということが何よりも大切なのではないのでしょうか。参加できるチャンスがあれば喜んで参加すればいいし、そういうチャンスがなければ、それはそれでいいのではないのでしょうか。

意識の世界は公平なんです。次元移行という意識の流れを、心に感じられるか、感じているか、それさえきちんと自分の中で学んでいけば、二五〇年、三〇〇年を思い、ただ喜びが湧いて出てくるようになっていきます。

165 愛を思い瞑想。宇宙を思い瞑想。異語が溢れ出てきます。中から突き上がってくるエネルギーは喜びと温もりを伝えます。

思いを向けることが嬉しくてたまらない。心の中から噴き上がってくるエネルギーがたまらなく嬉しい。喜びなんです。温もりなんです。そんな瞑想の時間を、こうして今、持てることが幸せです。

喜びの瞑想を重ねていきましょう。瞑想は喜びです。喜びで宇宙を思っています。宇宙に思いを向けられる今を堪能してください。

たくさん意識達が待っています。ともに存在し、ともに帰れることをお伝えください。

年内に脱云々とありました。その世界にとらわれているようでは、宇宙は分かりません。ということは自分が分からない、愛の世界が分からないということになります。それはいったいどういうことなのでしょう。

神、仏、宇宙のパワーという実体のないものを信じ、崇め奉り、我は神なりとしてきた過去は、どなたの心の中にもあります。誰一人例外はありません。その自覚があつて学んでこられた方、学んでいる方、自覚も何もない方があるだけです。

そして、今は、そこからどれだけ自分を解き放し、本当の自分、愛に目覚めているか、ただそれだけが問われているのです。

たとえば、アマテラスの国に肉を持ってきた私達にとって、卑弥呼という意識の変革はとても大切です。そこで、今、あなたの中でどれだけその意識の変革を確認しているでしょうか。そういうこともまた、自分の成果を確認する一つの手段だと思います。

177 あなた、自分の道が見えていますか。見えてきましたか。

急いでください。焦らなくてもいいけれど、真剣に真摯に自分を見つめてください。自分を見つめるんです。自分の中の変革をやってください。

そして、充分に手ごたえを感じたならば、あとは淡々と喜びと温もりの世界を広げていきましょう。

限りなく広がり、限りなく続いていく意識、波動、エネルギーの中へ、ひとつに溶け込んでいく喜びの中へ進んでいきましょう。

千載一遇の出会いを無駄にしないでください。どうぞ、他力のエネルギーを解き放してください。そして、愛のエネルギーだった自分を復活させてください。

231 長い人で三〇年、大方の人は二〇年ほど、田池留吉のもとで学びを進めてまいりました。

それぞれの心で感じている世界があると思います。絶対評価のもとで、自分の歩みを半歩、一歩前に進めていく喜びを味わっておられるでしょう。

言うまでもなく、学びは今世始まったばかりです。全く違う軌道に乗っていたものを、正規のルートに乗せていく難しさをしっかりと味わいながら、それでも、正しい瞑想ができるように、日々自分の時間を使ってまいりましょう。

自分に優しくなっていけばいくほどに、自分に目覚めていきます。意識の流れをしっかりと心に感じる喜びの中で、「私は愛でした」の思いをどんどん広げてま

いりましょう。

他力、他力、他力、欲、欲、無知、無知、無知の愚かな転生を慈しみながら、こうして今あることをただただ喜んでいきましよう。

喜びとありがとうの人生を自分の中で復活させていくことだけに、エネルギーを傾けてください。

253

愛へ帰る道を、一歩、一歩、着実に歩んでいますか。それとも、いまだに他力の神々に、自分を売り渡しているのでしょうか。

母に今のその肉体をいただいてきたのです。その重み、喜びを心から味わっていますか。

今そこにあることが喜び、本当にこのことを心から感じてください。

感じてくれば、必ず変わります。意識の世界に変革が起こってきます。

喜びはパワーです。温もりはパワーです。

愛を捨て去った意識の世界には、その思いは全く届きませんでした。パワーをくれ、パワーがほしいとしてきた自分の間違いに気付くことから始めなければなりません。

生まれてきた意味、生きる目的、心から、心から知ってください。

テーマ 「著名人に語りかける 1」

ヒトラー (Adolf Hitler) さんに語り掛けました。

ヒトラーさん、ナチスドイツの独裁者。ユダヤ人大虐殺。そして自殺。ヒトラーというあなたの時間は、このように伝えられています。

さて、あなたは、今、どのような状態でしょうか。ヒトラーさん、あなたを語ってみてください。

私は、ヒトラーと呼ばれた時間を過ごしてきた意識の世界を、今、語りなさいと言われました。何も語ることはできません。私は、何も語ることはできない。私は独裁者として名前を馳せました。ユダヤ人大虐殺ですか。たくさんの人達を死に追いやってきた独裁者。私はその中で自分の心を、今、感じています。私の中は、恐ろしいほどの真つ暗闇の中で、私は私を感じています。語ることなどできない。語れない。どうしても語れと言うならば、ただただ苦しみが襲いかかっ

てきます。私の上から襲いかかってくるものは重い、重いものです。苦しみです。苦しいです。ただただ苦しいです。

私の中にあるものは、ただただ苦しみだけです。

暗闇の真つ暗闇の、冷たい、冷たい世界です。私は、自分を今、感じています。奥へ、奥へと自分を沈み込ませていく自分を感じています。ただただ苦しいだけです。ただただ苦しいです。

ヒトラーさん、形の上からは、あなたはとても人間とは思えないような行動を取った方です。しかし、意識の世界ではどうでしょうか。真実を知らない、自分の本当の姿を知らない意識達はみんなあなたと同じように、極悪非道なエネルギーを、ずっと垂れ流してきたのではないのでしょうか。あなたは、あなたを切り刻んできた。そんなあなたのエネルギーを、今、感じます。心は凍えるほど寂しくて冷たいです。しかし、そのあなたの心の中に、優しさがある。そのことを私は伝

えます。優しさがあるんです。温もりがあるんです。誰もそんなこと、あなたに伝えることはできないでしょう。あなたは独裁者。大虐殺を命じた人。恐ろしい人間として、後世に伝わっています。ですが、あなたの本当の姿は温もりなんです。優しさなんです。喜びなんです。ただただ優しい、温もりのあなた。そのあなたの心を本当に思い起こしていくことが、あなたの喜び、幸せに繋がっていくんです。暗く、暗く、真つ暗な中に、ただただ自分を落としていくのは、もう止めにしましょう。どんなに間違い続けても、私達は自分の本当の姿を見出していく、そんな流れの中にあります。

先ほども言いました。極悪非道な人間だけが、苦しみの世界にあるのではなくありません。真実を知らず、自分の本当の姿を捨て去った意識の世界は、すべて、暗闇の、真つ暗闇の中に落ちていきます。どうぞ、ご自分の心を救ってください。あなた自身を救ってください。温かな温もりの中へ、自分をいざなってください。ヒトラーさん、あなたにお伝えします。

お母さんを思ってください。その暗闇の中で、お母さんを思ってください。ただただお母さんと呼んでみてください。

お母さん、お母さん、お母さん。微かに、微かに伝わってきます。

ああ、なぜ、私はこんなに真つ暗闇の中にあるのか。何だか、私に優しさが伝わってきます。こんな優しい思い、こんな優しい温もり。私は、私は、なぜ、こんなに苦しい中にあるのか。

その思いが上がってきます。

お母さん、お母さん。しっかりと呼びたいけれど、私の上に重いものがのしかかってくる。お母さんと呼びたいけれど、呼べない私がある。お母さん。

ヒトラーさん、重い、重いものは、あなたが培ってきたエネルギー。あなた自身です。どうぞ、もう少し、しっかりとお母さんと呼んでみましょう。お母さん

と呼んでみてください。お母さんです。あなたの中に、きっと、もう少し何か
伝わってくるはずです。

どうぞ、ヒトラーさん、お母さんと呼んでみてください。

お母さん、お母さん、お母さん。ああ、遠い、遠い昔に忘れ去った思いが伝わ
てきます。お母さんとは、このような思いだったのでしょうか。私の中に、ああ、
何か伝わってきます。ああ、優しいです。ああ、優しいです。お母さんと呼ん
だとき、私は優しい思いを感じます、お母さんと呼んでいた私があったように、
ああ、思います。

お母さん、私はあなたを呼んでいた。あなたを、ああ、思ってきたときがあった。
そんな思いが心が上がってきます。

お母さん、お母さん、お母さん。ただただ、ただただお母さんと、ああ、ただ
ただお母さんを見つめていた頃が私にはあった。そんな、そんな私を思い出しま
した。

ヒトラーさん、そうです。本当はあなたの中には、お母さんだけしかありませ
んでした。そのことに、あなた自身が、早く気付いていたかどうか、これから
の時間が流れていくでしょう。

私達はすべて、喜びの中へ帰れることを伝えます。喜びだけです。温もりだけ
です。お母さんと呼べる素直なあなたを、ああ、ああ、早くあなたの中で思い出
してください。本当のあなたを思い起こしてください。本当のあなたを蘇らせる
日が来るのをお待ちしています。

たくさんの、たくさんの思いを、あなたは秘めています。その一つひとつが、
お母さんの温もりを求めてきたあなた自身です。どうぞ、お母さんに心を向けら
れるあなたであってください。

チャールズ・ダーウィンさん、 語ってください。

はい、私の名前を呼んでくれましたか。私は、今、何をしているのか。とても暗い、暗い世界にいます。私は苦しい。苦しいです。私はああ、苦しいです。ああ、ああ、私は苦しいです。ああ、だけど、私は、ああ、私はああ、呼ばれたような気がします。私は、ああ、ああ、長い、長い眠りの中にあった。ああ、今、私は何かにいざなわれている。私を呼ぶ声が聞こえます。苦しい中、ああ、私は苦しい。私は苦しい中、私は何かを語りたい。何かを語りたいです。語りたいです。ああ、私を呼ぶのは何でしょうか。ああ、私は、今、何か私はいざなわれているような気がします。

チャールズ・ダーウィンさん、後世にあなたの名前は広く伝わっています。し

かし、今、あなたを感じていますが、とても、とても、苦しい思い、辛い、苦しい、冷たい、寂しい中にあなたはいますね。あなたは、息も絶え絶えの中で、自分の名前を呼ばれたことを感じている。

そのようなあなたの状態の中で、私は、あなたに伝えます。

あなたは、とても、とても暗闇の中に、真つ暗の中に沈んだ状態ですが、あなたの中の優しさに気付いてくださいと、私は、あなたに伝えます。

あなたの名前、あなたの研究されてきたこと、後世に大きく伝わっています。しかし、あなたの今の状態はそんなところではありませんね。

あなたは、今、あなたの状態を感じて如何でしょうか。

あなたは、後世に自分の名前が知れ渡っている、あなたが研究してきたことが、後世に引き継がれてきた、そのようなことを聞いてあなたは、今、どのように思っていますか。

はい、私はそんなことどうでもいい。私が何をしたか。私がどのような名前で後世に残っているのか。そんなことどうでもいいんです。ただただ苦しいです。私は、ただただ苦しいです。ここから抜け出したい。

苦しい、苦しい。苦しい中にいます。ああ、この中で、何を語れと言うのですか。はい、はい、少し楽になりましたが、私は何も語ることができない状態です。私は何をしてきたのでしょうか。私の心はどこにあるのでしょうか。私は、今、生きています。死んでいるのでしょうか。

ああ、私は何も分からない状態です。

チャールズ・ダーウィンさん、そうですね。あなたは、自分の本当の姿を知らずに、ずっと存在し続けてきました。もちろん、あなたは生きています。そこに確かに存在しています。

あなたの肉体は、チャールズ・ダーウィンというあなたの肉体はありません。

あなたは死んで、いわゆる一〇〇年以上の時間が過ぎ去っています。

しかし、あなたはその時間の中には、今、あなたを感じることはできません。ただ、あなたは暗闇と表現しました。冷たい、苦しい中、寂しい中と表現しました。その通りです。それがあなたの世界、あなたはそこに存在しています。あなたが肉体という形を持つて、どのようなことをしてきたのかは、今のあなたにとつて、どうでもよかったことなんです。ただ、あなたは自分の本当の姿を知らずに存在してきた、その結果、あなたは、今の状態にあることを私はあなたに伝えます。

本当は、あなたは優しい温もりの中に、存在しているんです。

広く、広く、どこまでも限りなく広く、温かい優しい存在なんです。

私達は、それを愛と呼んでいます。

愛のエネルギーのあなたなんです。愛のエネルギーの中にあなたは存在しているんです。しかし、あなたはそのことが全く分からない状態です。

それは、全部自分が自分の中を押し殺して、暗闇の中に押し留めているからです。

その中から、自分を解き放していくことが、あなたは、まだできていない状態です。どうぞ、自分の中の優しさ、温もり、温かい思いを信じていってください。

愛はあなたの中にあります。あなたの中にある本当のあなたに目覚めていけるようなあなたであってください。

名前、功績、何をしてきたか、あなたにとってどうでもよかつたことです。ただ、あなたがあなたに目覚めていく、愛あるあなたに目覚めていく、愛のエネルギーであるあなたに目覚めていく、私は、そのことを、ただただお伝えしたいがために、あなたを呼んでみました。

チャールズ・ダーウィンさん、心をあなたの心を、愛へ、愛へ向けてください。それが、あなたが探究してきた進化ということではないでしょうか。

アルベルト・アインシュタインさん、 あなたの今の状態を語ってみてください。

苦しい。ここはどこ。私は誰。とても苦しい中にあります。私はここから抜け出すことができない。今、私はそのことを語りたい。ああ、ここから抜け出したい。苦しい。苦しい、苦しい。寂しいです。冷たいです。辛いです。苦しくて、苦しくてなりません。

私を呼ぶのは誰ですか。私は、何かにいざなわれています。私は、今、私を呼ぶほうに向いています。少し、明るくなりました。私は、この明るさが、ああ、ああ、懐かしい。懐かしいです。真つ暗闇の中で、私は、どのようにしていたのかわかりません。だけど、今、一筋の明りが私の中に差し込んだような気がします。だから、私は、このように語れるんです。苦しくて、苦しくてなりませんでした。苦しうと言うのも苦しかった。なぜなのかわからなかった。私はどこにいる

のか。私は誰なのか。私はああ、そんな思いばかりが上がってきます。誰もいないです。だから、ああ、苦しいけれど、それよりも、苦しみよりも寂しい、冷たい、凍えていた私がありました。

私は今、何を語っているのか。何だか、ああ、そのようなことを語っているんですね。何も分かりません。

ただどのような感じだと、私は尋ねられたような気がします。だから、苦しい、冷たい、寂しい。ああ、苦しい、冷たい、寂しい。そのことだけです。

アルベルト・アインシュタインさん、そうですね。あなたの中に、もう少し温かい思いを感じていただきましょう。

はい、あなたの中の優しさ、温もり、広がり、ふうつと思ってください。あなたの中が広がっていくんです。今よりも、もう少し、もう少し、そして、温かく、優しい思いが、あなたの中に感じられると思います。どうぞ、この思いのほうに、

あなたを向けてみてください。

はい、アインシュタインさん、こちらのほうに思いを向けてみてください。

はい、はい、少しずつですが、広がっていく。広くなっていく。少し楽になりました。同時に温かいものが感じられる。

これは懐かしいですね。私はこの思いを知っています。この思いを知っています。懐かしい、懐かしい。ああ、ああ、懐かしい。懐かしいと思えば、もう少し、ああ、もう少し、懐かしさが感じられる。

ああ、温かいです。優しいです。ああ、少し楽になりました。

そのような状態で、アインシュタインさん、あなたをもう少し感じてみてください。さい。

あなたの中にあるのは、そう、優しさ、温もり、広がる空間。それがあなたな

んですが、あなたが先ほど語ったように、苦しい、辛い、寂しい、冷たい、そんなあなたも、もちろんありますよ。

あなたは、そのあなたを、今、感じた優しさ、温もりで、すうっと包んでみてください。

いいですか。あなたの中の優しさ、温もりで、今、あなたが訴えてきた、苦しいとか、辛いとか、寂しいとか、冷たいとかいう思いを、ふうっと、その優しさで、温もりで包んでみてください。

はい、まるで、私は包まれているようだ。お母さんの腕の中に包まれているような気がします。

懐かしいと思ったのは、このことだったのでしょか。お母さんが思い出される。私はこのようにお母さんに包まれていたような。ああ、そんな、ああ、思いが蘇ってくる。ああ、お母さん、懐かしい。ああ、お母さん、懐かしい。お母さん、懐

かしいです。

はい、そうです。アインシュタインさん、そうなんです。お母さんの温もり、優しさ、あなたはお母さんを忘れて、自分が作ってきた世界に、ただ閉じ籠ってきただけです。

閉じ籠って、苦しい、苦しいと固まっていた状態です。そうではなく、あなたは、お母さんの中に抱かれた状態だったんです。今もそうです。

だから、このことを思い出していきましょうと、私達はあなたに呼び掛けました。お母さんと呼んでください。どんなお母さんだったのか、そんなことはどうでもいいんです。ただただ、あなたがお母さんと呼んでいけば、あなたの中が少しずつ、少しずつ、開けて、そして明るく温かくなっていく、その感じを蘇らせてください。

アインシュタインさん、後世に、あなたのお名前は広く伝わっています。その

功績も同様です。

しかし、あなたが、今、したように、あなたがするべきことは、あなたが作ってきた真つ暗な世界を、お母さんの中へ帰す、お母さんの中で包んでいく、そのことだけだったんです。

はい、そのことを、今、お伝えしたいと思います。

私達は、アインシュタインさん、あなたに思いを向けさせていただきました。あなたの意識の世界、あなた自身を、もつと、もつと自分で知ってください。そして、お母さんの中にいだかれていたあなたを思い出していきましょう。

私達は、ただただそのことをお伝えします。アインシュタインさん、心を広げていってください。ご自分を自由に解き放してください。温かい温もり、優しさ、広がり。広がつていくあなたがあなたです。

私達は、それを愛と呼んでいます。愛はあなたです。あなたの中に広がる心、優しさ、温もり、喜び、パワー。愛のパワー、あなた自身があるんです。お母さ

んの中に抱かれていたことを思い出してまいりましょう。

アインシュタインさん、あなたは、今から、このことをやってください。

苦しい、暗い、寂しい、冷たい、あなたの中はそのようなあなただけではなく、優しい温もり、広がる喜び、そんな中に入ったことを知ってってください。

アイザック・ニュートンさん、
今、あなたは、どのような状態であるか、
どうぞ、語ってみてください。

アイザック・ニュートンさん、科学的な発見の他に、あなたには違う側面がありますね。あなたの中の神の世界、哲学者としてのあなたの側面、その側面に就いて語っていただきたい。そして、今、あなたは、どのような状態であるか、どうぞ、語ってみてください。

はい、ああ、とても苦しいです。暗闇、暗闇、真つ暗闇。真つ暗闇。ああ、とても、苦しい、苦しい、苦しい。なぜ、私はここにいるのか。私は分からない。私は、誰なのか。私は、何なのか分からない。分からない。分からない。分からない。ああ、今、何がどうなっているのか。ああ、私こそ、知りたいです。

私はとても苦しい中にいます。小さな、小さな中に閉じ籠っています。重く、重く、苦しい中にいます。私に呼び掛けてくれたのは何ですか。

私に温かい思いが届きます。はい、あなたの今の状態を語ってくださいと。あなたにとって、神とはいったい何ですかと。私はそのような声を聞きました。

私は、ああ、今、ああ、とても苦しい状態ですが、そんな思いというか、声を聞きながら、ああ、少しああ、何か楽になってきました。

はい、神とはいったい何だったのか。私にとって、神とはいったい何だったのでしょうか。

人間の心の中に巣くっているものが、とても、とても暗闇の世界だと、私は、生きていく時に感じてきました。私は、今、自分が死んでいると思います。私は死んでいるのに、どうして、これだけ語れるのか、不思議です。不思議だけれど、私はこのように語っています。

神を求めてきた私の中がとても苦しい。神とは、ああ、穏やかな、優しい思い。

ああ、私を救ってくれる存在ではなかったのですか。神とは偉大なるものだとも思ってきました。だけど、私の状態は、今、それどころではありません。救いを求めてきました。もちろん、この苦しみから私を救い出してくださいと神を呼びました。

呼べども、呼べども苦しみが続きました。なぜだか分からなかった。私は、そのうち、呼ぶことすらできなくなりました。なぜならば、私は固まっていったからです。苦しい、重いよ、上から重石おもしがのしかかってくるような感じで、私は固まっていくしかなかったからです。

ああ、私は、ああ、生きているとき、そんなにすごい発見をしたんですか。ああ、そうですか。でも、私にとって、今の私にとって、そんなことは何の支えにもならない。何の力にもならない。ただただ苦しい。苦しい。苦しい。苦しい。それを、この苦しみを取り除くには、どうすればいいのかと、私は、ああ、尋ねたいです。

アイザック・ニュートンさん、あなたもまたご自分の本当の姿を知らずに、生き、そして死に、また、生き、そして死に、そのような転生を、何度も、何度も繰り返してこられたと思います。

今、あなたの中に伝えます。

あなたの中の優しさ、温もり、大いなるパワー。それは愛のエネルギー。愛のエネルギーこそあなた自身。そのあなた自身に目覚めてください。もうそのような時期にきています。

今、私達は、肉体という形を持っています。肉体という形を持って、肉体のないあなた、あなたの意識の世界に語り掛けています。

あなたも、これからの時間の中で、もう一度、二度、三度と、肉体を持つかもしれない。

その肉体を本当に活用して、あなた自身、本来のあなたに目覚めていくように、私達は、今メッセージを送ります。

私達は愛です。愛のエネルギー。愛のエネルギーの中に、あなたも私達もすべての意識が存在していることを、あなたにお伝えしたいと思います。心の中には何もありません。ただただ愛に目覚めていく、愛に目覚めていきたい、本当の自分を知っていききたい、というあなたの思いがそこにあるだけです。

すごいエネルギーを蓄えてきました。神はあなたを救うことはなかったと、あなた自身が語りました。そうです。神という存在はありません。ただただ、あなたはあなたを救いゆく大いなるパワーの持ち主。

そのパワーを発揮して、あなた自身が愛であることに目覚めてください。

ともに、ともに、歩んでいける喜びだけを私達はお伝えしたいです。

苦しい中、暗闇の中で固まってしまったあなたの意識の世界を溶かすものは、あなたの中の愛。愛のエネルギー。愛のパワー。

そのパワーをもって、あなたは、その苦しさからご自分を救い出してください。自分を解き放してください。

ただただそのことができることをお伝えします。

偉大な発見で、あなたの名前も功績も後世に伝えられています。しかし、あなたの実態は、今のあなたが語った通りです。どうぞ、どうぞ、今度こそ、今度こそ、あなた自身、自分の本来の姿に戻り、そして本来のルートにあなたを乗せていただく下さい。意識の流れをお伝えします。

お伝えした以上、あなたの中に変革が起こってくるでしょう。

愛のエネルギーとはそういうものです。私達はあなたにお伝えします。

ニコラウス・コペルニクスさん、
地動説を提唱されたあなたです。
今、あなたに語り掛けています。

私達は、あなたが肉体を持った時代より、ずうっと時を経て、今、コペルニクスの転回という言葉引用させていただいて、真実の道を学んでいます。どうですか。あなたもこの真実の道、真実のあなた自身を知る方向に、あなたを向けてみませんか。あなたの今の状態は、とても、とても言葉では言い表せられないほどの暗闇の中に落ちている状態です。

今、あなたに語り掛けています。どうぞ、私達とともに愛の道、真実の道をあなたの中から歩み出していきませんか。私達はするように呼び掛けています。どうぞ、今のあなたを語ってみてください。

どのように語られるかも分かっています。しかし、今、あなたの思いを聞かせてください。

そうです。私はとても、とても苦しい、苦しい中にいます。暗闇、真つ暗闇。重い、重い、重い重圧の中で、どれだけ苦しみ喘ぎ続けてきたことか。ああ、苦しい、苦しいとしか言えません。どうして、私を呼んでくれたのですか。ああ、そうですか。私は、ああ、ああ、間違つて存在してきたと、ああ伝わってきます。何が、どのように間違つてきたのか、ああ、私は知りたいです。苦しいこの中から抜け出していくのには、どうすればいいのか。私は、ああ、何かが示されているような気がします。

はい、私は苦しいです。ああ、真実の道とおっしゃいました。真実とは何ですか。また愛ともおっしゃいました。愛とは何ですか。

何も分からない状態です。お願いです。私に分かるように語ってみてください。ただただ、この苦しさから抜け出したい思いでいっぱいです。

今、私は、ああ、このように語っているから、ああ、少し楽になってきているんですね。苦しい。それでもとても苦しい。ああ、何を語っているのか、私は分からない。だけど、ああ、語りたい。何かを、私は求めてきたように思います。

ニコラウス・コペルニクスさん、そうです。あなたは、本当のあなた自身に巡り合いたかったんです。たくさん、たくさん、あなたのことを、あなたは探求されました。天動説、地動説と私達は、伝えていただきました。あなたが提唱した地動説が、今は、ごくごく普通になっています。しかし、あなたの時代に、それを世間に公表することは、とても、とても難しかったことでしょう。しかし、こういうことは、今のあなたにとってはどうでもいいようなことでしょう。

それよりも、今、私達はあなたにお伝えしたいことは、あなたの本当の姿、あなた自身を、あなたの心で知ってくださいということなんです。

あなたの心とは何かと言いますと、あなたの心は、今、あなたが語ったような、苦しい、重い、そのような状態ではありません。

あなた自身は、もつと、もつと明るくて温かくて、ずっと、ずっと広がっていき存在なんです。それがあなた自身、あなたの心だと、私達は言えるんです。あなたは、そのあなた自身を全く知らずに、ずうっと、ずうっと、今まで存在してきました。苦しい中、暗い中、重苦しい中に、自分を閉じ込めて、あなたはずうっと存在してきました。だけど、今、私達はあなたに伝えます。あなたの中に優しき、温もりがあるんです。それを愛と私達は呼んでいます。

あなたの中に、その愛のエネルギーが詰め込まれているんです。どうぞ、ご自分を愛のエネルギーで満たしていただくさい。

そうすることを、私達はあなたにお伝えしたいんです。

私達は今、真実の道、愛へ戻る道、愛へ帰る道、本来の自分に帰る道を、ともに、ともに歩んでいます。あなたもどうぞと私達は呼び掛けています。

苦しいでしょう。辛いでしょう。寂しいでしょう。冷たいでしょう。

う。重い苦しい中にあると思います。

しかし、今、あなたの中の優しさ、温もりを、はい、少しずつ感じていけるのではないのでしょうか。

どうぞ、コペルニクスさん、私達の方向に、愛の方向にあなたを向けてみてください。

はい、はい、はい、何だか、私の中の苦しみと思っている世界に、少しずつ隙間ができました。そして、そこから明るい日差しが、ああ差し込んでくるような。そこには温かい思いがあるんです。温かな優しい思いが流れてきます。苦しい中に取りました。温かい優しい思いなど……。

ああ、ああ、私はどれだけの時を経てきたのかと思います。

こんな優しい思いがあったんですね。ああ、どんなその思いが私の中に、ああ、ああ、流れてきます。苦しい私が、少し小さくなってきました。

ああ、これが真実への道ですか。愛と呼ばれるものですか。

ああ、私も、その方向に心を向けていきたいです。私自身を向けていきたいです。こんなに温かな優しい思いが、私の中にあつたなんて、ああ、本当に、ああ、信じられない。だけど、私は、今、語っています。苦しくて、辛くて哀しくて冷たい私の中に、優しい思いが届いています。

ああ、ああ、本当に届いています。

ニコラウス・コペルニクスさん、そうです。どうぞ、今、感じた優しい思い、広く、広く広がっていくであろう、そのあなた自身を信じていってください。苦しい、暗い、そんなあなたではないんです。

私達の心の中は、ずうっと、ずうっと、ずうっと広がっていく、ただただ広がっていくんです。優しさに満ちています。温もりで満ちています。

そんなあなたを思い出してってください。そんなあなたに蘇ってください。

私達はあなたに、今、呼び掛けています。

長い、長い時間の中で、あなたはあなたを閉じ込めてきたけれど、もう、もう、もう、その苦しい中から抜け出してください。あなたの中からそのいざないが、ああ、これから起こってくるでしょう。

私達は愛でした。愛のエネルギーでした。コペルニクスさん、あなたの中の愛に目覚めてください。

ガリレオ・ガリレイさん、

あなたは、今、どのような状態ですか。

心の中に苦しい思いを抱えていますね。

その苦しさをお伝えください。語ってみてください。

私は何をしたと言うのか。正しかったではないか。こんな私の思いをずうっと、ずうっと、心の奥底に秘めてきた。

ああ、私の中には、苦しみしか残っていない。苦しみ、苦しみでした。

ああ、私は神を信じてきました。神の存在を信じてきました。ああ、神は私を救ってくれるものだと思ってきました。だけど、私の中には神を呪う思いしかない。私はこの苦しきから、どうしても自分を解き放つことができないことを、今、語りたいです。

ただただ苦しいです。神を呪い、神に裏切られたと心の奥底に秘めてきた思いを、

今、語れと言う。

私の中に神はなかった。神を信じてきた私はいったい何だったのか。

神、神、神、そのように私は神を崇めてきました。私の中で唯一救いゆくものは神でした。神の存在が、私にとってなくてはならない存在でした。

その心の中に、神を呪い、神に裏切られたと語っていくことが、とても、とても私には耐えられないことでした。

しかし、私は語らずにはいられない。とても、苦しい思いです。

はい、私の心の中に、よく、よく伝えてくれました。そうです。私はただただ、苦しみの奥底に沈み込んだ状態です。

私は苦しい。ただただ苦しい。神を呪い、神に裏切られたと、私はそんな私をここに感じています。この私の苦しみをどうすればいいのか。

私は、語りなさいと伝えられた。だから、私は、ああ、今、ああ、ようやく、ようやく、自分の心の中を語ることができる。この苦しみから抜け出したいんです。

私は、神を呪い、神に裏切られた。

神に全幅の信頼を寄せていた私なのに、こんな思いが次から次へと上がってくる私を許せなかった。私は、それがただただ苦しかったです。

ガリレオ・ガリレイさん、そうですね。あなたはあなたを真つ暗闇の奥底に突き落としてきたんです。どうぞ、あなたのその思いを、もっと、もっと、優しい、温もりのほうへ向けていってください。私達はあなたにそのことをやっていただきたい。

いつまでも、いつまでも、苦しみの奥底にいないで、どうぞ、もっと、もっと、明るい方向に心を向けてください。

神は存在しませんでした。存在していないものに、あなたは何を訴えてきたのでしょうか。すべては自分の心の世界だったということを、私達はお伝えします。自分を呪ってきたんです。自分に自分が裏切られたと、自分を真つ暗闇の中に

突き落としたのは、あなた自身です。その愚かさに、どうぞ、気付いていってください。

そして、少しでも明るいほうへ、少しでも温かなほうへ、そして、少しでも広がりを感じていってください。

あなたの中に優しさ、温もり、喜び、ああ、すごいパワーがあるんです。

そのパワーは、あなたを、ただただ、ただただ待っていてくれる本当のあなたなんです。

私達は、そのことを伝えます。

あなたの心の中の暗闇、真つ暗闇。どんなに苦しいと、もがいたところで、あなたがあなたを、本当の自分に向けていかなければ、どうにもならないことを伝えます。

あなたの中にある優しさ、それは愛です。愛はあなたをしつかりと包んでいます。愛のエネルギーを感じてください。

愛は優しさ。愛は喜び。愛はパワー。愛しかなんです。あなたの中の愛は、とても、とても大きなものです。その大きな世界を、心の中に広げていってください。私達は、そのことをあなたに伝えたかった。

今、私達は、あなたに伝え続けていけることを喜んでいきます。どんなに苦しい、暗い中に落ちていても、私達はあなたに伝え続けます。

ガリレオ・ガリレイさん、どうぞ、私達の方向に心を向けてみてください。

愛、愛、愛、愛、愛、愛。そんなメッセージが私の中に伝わってきます。

力強い思い。優しいけれど、とても力強い思い。私はこの中に包まれていると伝えていただきました。

ああ、私は、ああ、私は、本当にそうなんですか。

苦しい。ただただ苦しい中であつたけれど、私の中の優しさ、温もりをもう一度、思い出していききたいと、今、感じています。

私の中の温かさ、優しさ、力強い思いは、ああ、ああ、この愛のエネルギーが私だったと伝えてくれているような気がします。今、私はそのような感じを受けています。ただただ苦しかった。苦しかった。自分が自分を苦しめていたなんて、私は今の今まで知らなかった。自分を落とし込めていたのは、自分だったと、そのように伝えていただいて、ああそうだったのか、ああ、すべては自分だったのか、そんな感じが、今、心の中をかけ巡っています。

ガリレオ・ガリレイさん、どうぞ、どうぞ、今、あなたが感じたことを、自分の中で信じていく、そのような時を過ごしてください。

あなたのの中の優しさ、温もりです。喜びです。愛です。愛しか存在しないことをただただ伝えたい。

暗い、暗い、真つ暗闇の中で、苦しいと喚き散らし、そして、喚き散らしてもどうにもならないから、やがて固まっていくしかかないという、もう早くそこから

抜け出してください。

たくさんの、たくさんの思いを心に抱え、あなたは、もう十分に苦しんできたはずです。

私達は苦しみの中にあるものではありません。ただただ温かい、優しい、本当に、本当に喜びの中にあるんです。

あなたも、そんなあなたに心を向けていってくださいさるよう、私達は伝え続けます。心を閉ざさないでください。

温かい、温かい、広く、広く広がっている方向に心を向けて、あなたをいざなってください。

愛のエネルギーがこれから、さらに働いてまいります。あなたの意識の世界も、私達は変わっていくことを願っています。心より、心よりそのようにお伝えしたいです。

ルネ・デカルトさん、

私達は、「今、私達は愛である。愛以外は何も存在しない。愛のエネルギーに満ち溢れている。愛のエネルギーを知つていこう。愛のエネルギーの中にあつた私達だったと知つていきましよう。」そんな学びをさせていただいています。

そんな中で、私は、「我思う、ゆえに我あり」という言葉を出されたあなたのほうに、ふつと心に向けてみたいと思いましたが。ルネ・デカルトさん、今、私達はあなたのほうに思いを向けています。あなたの状態を感じています。この「我思う、ゆえに我あり」ということを提唱されたあなたに、我とは何かとお尋ねしたいです。

はい、「我思う、ゆえに我あり」、ああ、その我とは。ああ、私には分かりませんでした。私は、私に、今どのような状態かと。私はとても苦しい暗闇の中に、ああこの苦しい中に、ただただ固まっている。これが私だというのでしょうか。私は、どのくらいこの中に閉じ籠っていたのでしょうか。

今、我は、我はと、そのような思いが、心の中からせり上がってきます。しかし、私を感じている自分というのが全く分からない。何も、何も語ることなどできなかった。今、語っているのは私なのか。それともどうなのか。そういうことすら分からない。

「我思う、ゆえに我あり」、そうですか。我とは何だったのか。私にとって、我とは何だったのか。私は、ああ、それを知りたかった。ただただ知りたかったんです。だから、私は、色々なところで思索を重ねてきました。ああそうでした。我とは何か。我とは何か。私は自分の中で大きな疑問でした。私に答えてくれるものは何もなかったです。我とは何か。私は、ああ、自分の中でそのように問いかけ

続けてきました。しかし、私の中に返ってくる答えはなかったです。

神の存在を求めてきたのは、そのためです。我とは何かを神に尋ねたかった。神ならば、すべてに答えてくれる存在だと、私は、そのように思ってきました。しかし、私の今の状態からして、神の存在も、私の中では分からない。神はあるのか。そして我とは何か。その思いがああ、心から出てきます。苦しい中、私はそのようなことを、ずうっと、ずうっと探し求めてきた自分だったことを思い出しています。

ああ、この苦しみは、そこから来るのでしょうか。何とも言えない重圧の中で、私は、喘ぎながらこのことを語っています。この重圧が私の中に、ずうっと、ずうっとあったことが、ああ苦しいです。私の今の状態はこんな状態です。私は何も答えることができない。何も分からない状態です。ずうっと、ずうっと苦しんできただけでした。

ルネ・デカルトさんは、「我思う、ゆえに我あり」の我とは、最初に、私達が語ったように、愛、愛のエネルギー。言葉で言えばそうです。愛のエネルギーが私達だったんです。私達の中に、愛のエネルギーが満ち溢れています。あなたにもそのことを感じていただきたい。

愛はすべてを癒していきます。すべてを愛に変えていくパワーがあるんです。あなたの中の苦しみ、重圧、色々な様な思い、その思いは、愛のエネルギーの中へ帰っていくようになっていくんです。

愛のエネルギーのご自分であったことを、お伝えしたいがために、私達はあなたに呼び掛けています。

私達の心の世界、私達の存在は、小さな、小さなものではありません。

愛はすべてを活かすエネルギーです。愛しか存在しなかったことをあなたにお伝えします。

あなたの中の愛。愛があなたである。そのほうに、少し心に向けてみてください。

はい、とても不思議な感覚の中にあります。私は広がっていくんです。あの小さな暗い重圧の中で固まっていた私は私ではないのでしょうか。

今、どこまでも広がっていく私を感じます。苦しい私が私だったんではないんですか。

「ああ、ああ違いますよ、違います。このように広がっていくのがあなたです。そこには、ただただ広がりがあるでしょう。ふうつと思つてごらんさい。優しい、優しい何とも言えない優しい、温かな思いが感じられませんか。それがあなた自身なんです。それが愛のエネルギーなんです。愛のエネルギーと一体化すること、愛のエネルギーの中に、自分を溶け込ませること、そのことをあなたにお伝えしたかったんです。それを信じていってください。」

そんな、そんなメッセージが届きます。

ああ、とても、信じられないけれど、ああ、ああ、広がっていきます。

はい、優しいです。優しいです。ああ、ああ、私はああ、広がっていきます。

ルネ・デカルトさん、あなたの中の広がり、温かさ、喜び、パワー、ああ、すべてはあなたの中にあつたんです。これからの時、あなたは自分をもっと、もっと感じていってください。どうぞ、どうぞ、今感じた思いをしっかりと心に持って、あなたの心を見つけてください。

愛のエネルギーは確かに流れていきます。広く、広く、広がっていく愛のエネルギーの中で、あなたをしつかりと見つめていってください。

ルネ・デカルトさん、「我思う、ゆえに我あり」の我とは、あなたが想像していたよりも、いいえ、もっと、もっと、想像もできないほどの大きな、大きな広がりにあります。あなたは、小さな世界の中で、我は何か、神とは何かを求めてきたお方です。

それでは何も分からなかったはず。そして、分からない状態どころか、今のあなたは、自分を自分の中で、苦しみの暗い中に閉じ込めていただけなんです。そこから自分を解放してください。あなたが先ほど感じた広がり、温もり、優

しき、パワー、すべてはあなたの中にあつた。そのあなた自身を心の中に蘇らせていくこと、愛のエネルギーの中にあつた自分をしっかりと信じていけるようなあなたであってください。

ルネ・デカルトさん、あなたが感じてきた世界、暗闇の世界は、全く間違っておりました。あなたはあなたを知らずに存在してきただけのことです。愛のエネルギーはあなたです。あなたは愛です。愛があなたです。

古代ギリシャの哲学者、アリストテレスさんのほうに
心に向けてみます。
アリストテレスさん、語ってください。

暗い、暗い、暗い、暗い、暗い、真つ暗な中。暗い、暗い、真つ暗な中。
苦しい、苦しい、苦しい、苦しい、苦しい。ただただ苦しい。私は苦しい。ああ、ああ、苦しい、苦しい。語れとおっしゃるのですか。私は何を語ればいいのですか。苦しい。苦しいとしか出てきません。私は、この重圧の中で、今、長い、長い眠りから呼び戻されたような感覚があります。しかし、その上に、とても重いものがのしかかっている。その重いものが、ああ、私の中に、ああ、あたくさんあります。これが私なんですか。はい、そのように伝わってくるんです。これが私なんですか。何ですか。この重いものは。ああ、今、語りなさいと言われた。ああ、苦しい。苦しいから私は語れないと言ったけれど、私は今、ただただ苦しいとだ

け語らせてください。

苦しいんです。苦しいんです。重いんです。重いんです。

私の中がとても重い。重い。私はああ、苦しいです。

アリストテレスさん、全くあなたのイメージ、私達に伝えていただいたイメージとは違った世界に、あなたが存在しています。私達は、そのことを感じています。だから、あなたに伝えます。

その重い重圧の中で、苦しい、苦しいと本当に苦しみが伝わってきます。

しかし、あなたは苦しみではありません。苦しみではありません。苦しみとは、あなたがあなたを知らずに存在してきたからです。

その苦しい重い重圧は、あなたのエネルギーです。そのエネルギーは、あなたがあなたを知らずに存在して、ずうっとずうっと積み重ねてきた真つ黒なエネルギーです。そのエネルギーがあなたを押し潰しているんです。自分で自分を押し

潰していることが分かりますか。

あなたは、その重圧の中で語ってくれました。苦しいと。

本当に苦しい思いが伝わってきます。

だから、私達はその苦しみあなたに、やはり伝えていかなければなりません。あなたの苦しみは、あなたが自分の姿を知らずに存在していただけたこと。そのことを私達はあなたに伝えていかなければなりません。

どうですか。そう言われれば、そのような感じがしませんか。

あなたの中の苦しみは、あなたが、あなたの本当の姿を知っていけば、その重圧は、嘘のように消えていくものだと、そのように感じることはできませんか。

アリストテレスさん、どうでしょうか。今、私達がお伝えしたことを聞いていただけていると思います。あなたの思いを聞かせてください。

はい、私が私を閉じ込めている。私が私にこの重圧をかけている。そのように

聞かされても、私には何が何だか分からない。だけど、私はこの重圧の中で、苦しみ続けてきたのは本当です。

この苦しい重圧の中から、この重圧の中から、自分を自由にさせていけば、この苦しみは少し和らいでいくのではないかということは、ああ、分かります。どうすればいいのですか。自分を自分で押し潰していると、ああ、ああ、そうですか。どうすれば、その重石を自分の中から取り除くことができるのでしょうか。

アリストテレスさん、はい、そうです。あなたの重石は、あなたが何も知らずに存在してきた結果だと伝えました。

今、私達が伝えているように、少しやってみてください。

あなたの中に、優しさ、温もりがあると私達は伝えます。

暗い、暗い真つ暗闇、重い、重いあなたではなく、優しいあなた、温もりのあなたがあると少し、ほんの少しでも思ってみてください。

ふうっと、私は優しいんだ、私は温かいんだ、そのようにふうっと、思ってください。どうぞ、アリストテレスさん、やってみてください。

はい、はい、はい、はい、何だかそう言われれば、ああ、少しずつ、ほんの少しずつですが、自分の中が和らいでいくような気がします。

ああ、ああ、ああ、あれほどのしかかっていると思ってきたけれど、少し軽くなってきました。そしてふわっと、ふわっと何か私の中に空間ができています。はい、その分、私は何だか軽くなっている。そして、私の中に、ああ、何とも懐かしい、懐かしい優しい思いが、ああ感じられる。懐かしいです。私はこの懐かしさを知っています。ああ、優しいです。温かいです。

アリストテレスさん、あなたが、今、感じた懐かしい思い、それは母の温もり。温もりなんです。

あなたにもお母さんがいましたね。あなたはお母さんの中に抱かれていたあなた自身があつたんです。その中で、あなたは、お母さんの温もりをずっと、ずっと感じていたんです。その温もりのあなたに帰っていくこと、私達は、そのことを伝えたい。

温もり、喜び、優しさ、広がり、私達は、それを、今、愛と呼んでいます。

愛のエネルギーと呼んでいます。愛のエネルギーがあなたの中にあつたことを伝えたいんです。重い、重いあなたがあなたではありません。

今、あなたが少し感じたように、ふわっと広がり、そして、温かな優しい温もり、優しい思い、どこまでも広がっていく広がり、それがあなたなんです。

どうでしょうか。今、私達がお伝えしたことを信じてくれますか。

ふうっと、ふうっと優しい広がり、ふわっと広がっていく方向にあなたを向けていくようになさってください。

あなたは愛なんです。あなたは愛なんです。

私はアリストテレスと呼ばれていたんですか。ああ、今、私は何かを、ああ、ああ、私は今、何かを伝えていただいた。

ああ、そう、私は間違つて存在してきたことを心に感じます。私の中に優しさ、温もりがあつたこと、ああ、ああ、これを私は知らなかった。

私は、ああ知らなかった。だから苦しんできました。ああ、ああ、本当に何かを間違えてきたんですね。そう伝えてくれたことを、私は、ああ、ああ感じます。そう、私は間違つてきたんだなあと思います。

ああ、私はこの懐かしさの中へ、私自身を思い出し出ていきたい。

ああ、お母さんだと言われた。ああ、ああ、そう、私は、ああ、この懐かしさが心の中に届く。ああ、ああ、嬉しいです。間違つてきました。

ああ、ああ、ああ、私はこの温かさを感じたい。もっと、もっと感じたい。ああ、私の中に広がっていく優しさが、心を、ああ、ああ、埋め尽くしていくような気がする。私は間違つてきた。ああ、ああ、ああ、苦しい私は、ああ、少し楽になっ

てきました。ただただ、何だか、ああ、ああ、信じられないけれど、本当だ。本当だ。私は、ああ温かい、優しいと思えば、心の中にそのような思いが広がって、私
が楽になっていく。ああ、このことを伝えてくれていたんですね。

アリストテレスさん、そうです。あなたの中の暗い暗闇の重い世界は、どうぞ、
今、感じた世界を目指して行ってください。そのあなたが本当のあなたなんです。
暗く、暗く、暗闇の中に閉じ籠っているのではなく、あなたはあなたの中の優しさ、
温もり、愛に目覚めて行ってください。

愛に目覚めていくエネルギーが、今、あなたの中に届きました。愛のエネルギー
を心で感じてください。

アリストテレスさん、長き、長き時間の中で、自分を見失ってきたことを思い
出してください。

古代ギリシャの哲学者プラトンさん、 あなたも心を語ってみてください。

はい、語ることなどできないけれど、私は、今、心の中を覗いています。苦しい。
苦しい、真つ黒な塊の私があります。私は、この塊の中で、ずっと、ずつ
と自分を閉じ込めてきました。

苦しい中をさらけ出してくださいと伝わってきます。

私は、今、温かな優しい思いに包まれています。心の中に、少し隙間ができて、
私は語ることができるんです。

私の中の真つ黒な、真つ黒な重い、重い塊は、私を、ああ、この中から出して
くださいと伝わってきます。

この中から出してください。どうしても、私はこの中から抜け出ることができ
なかった。私は、凄い世界に、ずっと、どれだけの間、い続けてきたのか、分

かりません。

しかし、私は、今、語りなさいという思いにいざなわれ、私は自分を語っています。苦しいというものではありません。そんなところではありません。私は、何も分からずに、全く何も分からずに、ただただ固まっておりました。私は生きているのか、死んでいるのか。どれだけの時を経てきたのか。何も分からずにいました。今、私は、語っています。苦しい重い中で、私は語れることが、ただただ不思議というか、ああ、嬉しい感じがします。

私は語れたんだ。私は語ることができたんだと思えば、私は嬉しいです。

これが、私が生きているということでしょうか。

ああ、ああ、ああ、今、少しずつ楽になっています。

ああ、ああ、ほんの少ずつ、私の中が開いていくような感じがします。

私は今、そのほんの小さな隙間というか、小さな穴というか、そこから、何か伝わってくるのを感じます。もっと、もっと伝えてほしい。

この温かさ、優しさ、ああ、私は知っているような気がする。懐かしいです。懐かしいです。

プラトンさん、あなたの意識の世界に思いを向けさせていただいています。

私達は、愛のエネルギーの中に存在しているんです。愛とはエネルギーです。すべてを活かす、すべてを包み入れる優しさ、温もり。ただただ喜び、広がり。そんな中に私達はあったんです。もちろん、あなたもこの愛の中に存在しています。あなたは、ご自分の本当の姿を知らずに、自分を閉じ込めてきました。

あなたに届いているのは、ほんの、ほんの少しのエネルギーかもしれません。

あなたが、そのエネルギーのほうにあなた自身を向けてくだされば、このエネルギーは、もっと、もっとあなたの中に届いていくでしょう。

愛のエネルギーを拒絶していたのはあなたです。あなたは、あなた自身を拒絶していました。暗い、暗い、そして重い、重い中に自分を閉じ込め、愛のエネルギー

の中に包まれているご自分を、全く知らずに存在し続けてきたあなたの意識の世界。

あなた自身をもっと、もっと知ってください。心を開いてください。

この愛のエネルギーのほうに、心を、もっと、もっと向けてみてください。

プラトンさん、今、あなたは懐かしいと語ってくれました。

そうです。あなたの中に、その優しさ、温もり、母の思い、母の温もり、あなたが懐かしいと感じた喜びの思いが、すうっと、すうっと、もっと、もっと入っていくように、こちらのほうに心を向けてみてください。

はい、はい、はい、少しずつ、はい、少しずつ、心を向けるということは、こういうことなのかと。ああ、ああ、懐かしい思いが染み渡っていくような気がします。はい、懐かしい。ああ、お母さん。ああ、お母さん懐かしい。お母さんと、私は自然とお母さんと呼んでいます。

この懐かしい思いは、私がずっと、ずっと、ずっと、ずっと、ああ、ああ、待っていた。この思いに出会いたかった。ああ、ああ、そんな私があります。はい、心を向けるとは、自分を閉じ込めずに自分を開いていくとは、この思いを、もっと、もっと感じていける方向に私を向けていくんですか。私は、この懐かしい思いを知っている。知っている。ああ、懐かしい。私の中にありました。私はこのことを知っていました。ああ、そう思えば、私は、すうっと広がっていく。段々と広がっていく。楽になっていく。私の中は広がっていく。ああ、ああ、小さな中に閉じ込めてきた私は、ああ、何だったのか。こんなに広い世界、広がる世界があったんですね。ああ、ああ、そんな、そんなばかなと思いました。私は、ああ、小さな中に閉じ籠っていたけれど、私はこんなに広がっていく自分を感ぜられるんですね。

プラトンさん、広がっていく世界はあなたの中にあるんです。あなたの中にあつたんです。どこか遠い世界の話ではありません。

あなたは、その世界を知らずに、自分を、ただただ、ただただ苦しみの奥底に落としていただけなんです。あなたは自分を知らなかっただけなんです。どうぞ、どうぞ、今、あなたが感じたものを信じていってください。あなたの中に、もっと、もっと優しい思い、温もり、広がり、優しさ、そんなあなたがあることを、もっと、もっと信じていきましょう。

今、愛に目覚めていく時期なんです。私達は、愛のエネルギーを伝え続けます。私達はすべての意識に愛のエネルギーを伝え続けていくんです。

これから、どんどん変わってまいります。

愛を思い、愛を思い、自分の中を広げていってください。

あなたは広がりです。喜びです。温もりです。愛はあなたの中に、すべてを包み込んでいくエネルギーとして広がっていくでしょう。

それは、あなたを、もっと、もっと愛へ、愛へ向かわせるエネルギー、パワーでもあります。愛は愛を目覚めさせていくことを、あなたの中でも感じていって

ください。

私達とともに歩みを進めてくれませんか。あなたの意識の世界が変わっていけば、あなたに繋がる意識も変わってまいります。

あなたは、遙か昔、遠い昔に肉を持った意識。しかし、あなたの意識の世界は、今、深い、深い眠りから目覚めたような、そんな気がしませんか。

プラトンさん、どうぞ、自分は愛のエネルギーであることを感じていってください。

ギリシヤの哲学者、ソクラテスさん、
あなたは正しく生きてきたと今、言えますか。
そして、神のみぞ知ると言ったあなた、神はありましたか。

私の中には何もありませんでした。神の存在を私は信じていました。しかし、私は今、神を、ああ語ることなどできません。神が存在しているならば、なぜ私はこんなに苦しいところになければならないのか。神の力で、私は救われると思ってきました。

私の中に、神はなかった。神という存在はなかった。私はただ苦しいです。私はこのことを語るのに、どれだけの時を経てきたのか。これだけの苦しみを自分の中に抱えながら、私はずっと存在してきましたと、私は、今、語れるけれども、どうしても、どうしても、分からなかった。

私は、今、どうなっているのか。私はこれからどうなっていくのか。

私には何も分からなかった。

私は正しく生きてきたかと尋ねられた。正しいということ、私は全く間違えてとらえてきた。私の中には何もない。この苦しい思いだけがある。私は誰なのかさえ、そしてこれからどうなるのかということすらも、分からずに、苦しい、苦しいとだけ私は今、語りたいです。

ソクラテスさん、あなたは、今、あなたが語ったように、あなたの中に、苦しい、苦しいエネルギーがたくさん、たくさん詰め込まれています。そのあなた自身を、心に感じておられると思います。あなたはどこにも行くことはありません。これからどうなっていくのかと、あなたは尋ねましたが、あなたがどうなっていくということはありません。ただ、あなたはあなた自身に目覚める、あなたの中に優しさ、温もりがあることに目覚めることがなければ、あなたは今と同じように、ずっと、ずっと暗闇の奥底に沈み、自分を閉じ込めている、それだけです。

そこから自分を解放し、明るく開けたところに自分を解放していくには、あなたの中にあつた優しさ、温もりを思い起こさなければなりません。あなたの中にあるんです。暗く、暗く閉じ籠っているあなたではなく、あなたの中の優しさ、温もり、広がり、それをあなたの中で感じてください。

私達は愛と呼んでいます。愛です。あなたの中に愛のエネルギー、本当のあなたがあることを、今、あなたにお伝えします。

どうぞ、どうぞ、暗く、長く固まっていた中から自分を解放してください。

ソクラテスさん、あなたの中には神などありません。

神というものはないんです。神のみぞ知るとい言葉、その言葉は、真実を語っておりません。神は存在しません。

あなたの中の優しさ、愛のエネルギー、それこそがすべてなんです。

愛のエネルギーしか存在しなかったんです。すべては愛のエネルギーの中にあるんです。あなたが、どれだけ自分を誇り、高く思ってきたとしても、そして、

すべての人達を下に見てきたとしても、すべては愛の中の出来事でした。愛のエネルギーの中で、愛に目覚めていく意識達こそ、すべてです。あなたもその目覚めていく中にどうぞ、ご自分をいざなってください。

高く、高くそびえ立っていたあなたの意識の世界は、今、あなたが語ったように、真つ暗な、暗い、暗い、小さな中に落ちているのが現実です。

その現実をしっかりとあなたの心の中で知って、そして、そこから自分を解放してください。

私は、初めて愛というものを感じました。愛のエネルギーがすべてだということ、ああ、私は初めて伝えていただきました。

そうですか。すべては愛の中の出来事だったんですか。私が思ってきた世界、私が広げてきた世界は、とてもちっぽけ世界だったんですね。私は神を、神の存在を信じてきましたが、神など存在しないと、はっきりと伝えていただきました。

神ではなく、私自身が愛である、その私自身に目覚めてくださいと、はっきりと伝えていただきました。

すごいエネルギーです。私の中に、ああ、私の中に届きます。このエネルギーこそ、私が目覚めるのを待っていてくれた。

ああ、優しさ、温もりだったんですか。私は全く何をもって、このように暗い中に閉じ籠っていたのか。本当に、本当にすごい世界だと思っています。

全く、私は何も分からない状態の中で、このように語らせていただいていることが、とても、ああ、ああ、不思議です。

心の中の愛のエネルギーを感じてくださいとだけ伝わってきます。

私は暗い、暗い真つ暗な中で、ああ自分を閉じ込めてきただけでした。心の中から、私を救ってくださいという思いが出てきます。私は私を救ってくださいという思いを感じています。


これが私だったんですか。私は何も知りません。何も分かりませんでした。長い、長い、長い時間を経て、私は今、何か大きなものに、自分が触れているような感じます。

このエネルギーは、ああ、私は本当に、ああ、ああ、こんな中であつたことが信じられないけれど、私の中に今、届き始めています。

愛に目覚めてくださいというメッセージの中で、私は、今、長い眠りからようやく、ようやく、ああ、ああ、少し明るい方向に自分を歩み出せるのではないかという思いがします。

長かったです。私は、何も分からずに、私は何も知らずに、ただただ固まっていた状態でした。

苦しい自分を感じてください。そしてあなたの本当の姿を、心の中に蘇らせてください。そんなメッセージが届きます。

 「意識の流れ」ホームページより
私の瞑想より vol.1

初版発行 2015 年 9 月 27 日

著 者 塩 川 香 世
装 丁 金 子 互
組 版 朝 日 め ぐ み
電子図書製作 一般社団法人 U T A ブック
発 行 一般社団法人 U T A ブック
TEL 0721-69-7812 FAX 0721-69-7954
印刷・製本 モリモト印刷株式会社

© Kayo Shiokawa, Printed in Japan 2015